

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(10) 国際公開番号

WO 2011/129040 A1

(43) 国際公開日

2011年10月20日(20.10.2011)

PCT

(51) 国際特許分類:

H04N 7/173 (2011.01) H04H 60/82 (2008.01)
H04H 20/93 (2008.01) H04N 5/445 (2011.01)
H04H 60/72 (2008.01)

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2011/000664

(22) 国際出願日:

2011年2月7日(07.02.2011)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願 2010-094709 2010年4月16日(16.04.2010) JP

(71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 株式会社JVCケンウッド(JVC KENWOOD CORPORATION) [JP/JP]; 〒2210022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 Kanagawa (JP).

(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人(米国についてのみ): 山岸 亨(YAMAGISHI, Toru) [JP/JP]; 〒2210022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 Kanagawa (JP).

(74) 代理人: 森下 賢樹(MORISHITA, Sakaki); 〒1500021 東京都渋谷区恵比寿西2-1-12 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

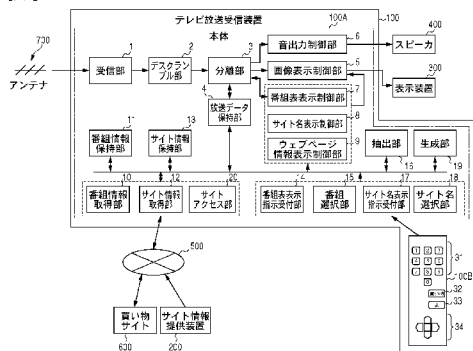
(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

[続葉有]

(54) Title: TELEVISION BROADCAST RECEPTION APPARATUS, AND METHOD OF GENERATING ACQUISITION-TARGET INFORMATION

(54) 発明の名称: テレビ放送受信装置、取得目的情報生成方法

[図1]



- 1 RECEPTION UNIT
- 2 DESCRAMBLER UNIT
- 3 SEPARATION UNIT
- 4 BROADCAST-DATA RETAINING UNIT
- 5 IMAGE-DISPLAY CONTROL UNIT
- 6 AUDIO-OUTPUT CONTROL UNIT
- 7 PROGRAM-GUIDE DISPLAY CONTROL UNIT
- 8 SITE-NAME DISPLAY CONTROL UNIT
- 9 WEBSITE-INFORMATION DISPLAY CONTROL UNIT
- 10 PROGRAM-GUIDE DISPLAY INSTRUCTION RECEIVING UNIT
- 11 PROGRAM-INFO RETAINING UNIT
- 12 SITE-NAME DISPLAY INSTRUCTION RECEIVING UNIT
- 13 SITE-NAME DISPLAY INSTRUCTION RECEIVING UNIT
- 14 PROGRAM-GUIDE DISPLAY INSTRUCTION RECEIVING UNIT
- 15 PROGRAM-INFO RETAINING UNIT
- 16 EXTRACTION UNIT
- 17 SITE-NAME DISPLAY INSTRUCTION RECEIVING UNIT
- 18 SITE-NAME DISPLAY INSTRUCTION RECEIVING UNIT
- 19 GENERATING UNIT
- 20 SITE-ACCESSING UNIT
- 21 SHOPPING
- 22 LIST
- 100 TELEVISION BROADCAST RECEPTION APPARATUS
- 100A MAIN BODY
- 200 SITE-NAME DISPLAY INSTRUCTION RECEIVING UNIT
- 300 DISPLAY APPARATUS
- 400 SPEAKER
- 500 SHOPPING SITE
- 700 ANTENNA

(57) Abstract: A television broadcast reception apparatus (100) comprises: a program selection unit (15) for receiving one selected program from among programs in a program guide; an extraction unit (16) for extracting, from program information, a keyword related to the program that was received; a site information obtaining unit (12) for obtaining the names and address information of one or a plurality of websites, and rules for generating acquisition-target information for acquiring information about a webpage related to a keyword extracted in one website from among the one or a plurality of websites; a site-name display control unit (8) for displaying the names of the one or a plurality of websites on a display apparatus (300); a site-name selection unit (18) for receiving the name of one website from among the names of the one or a plurality of websites that were displayed; and a generating unit (19) for generating the acquisition-target information according to the rules.

(57) 要約: テレビ放送受信装置 100 は、番組表の中から一つの番組の選択を受け付ける番組選択部 15 と、番組情報の中から、受け付けられた番組に関連するキーワードを抽出する抽出部 16 と、ウェブサイトの名称及び所在情報、並びにそれら一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための規則とを取得するサイト情報取得部 12 と、取得された一つ又は複数のウェブサイトの名称を表示装置 300 に表示させるサイト名表示制御部 8 と、表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中から一つのウェブサイトの名称の選択を受け付けるサイト名選択部 18 と、規則にしたがって、取得目的情報を生成する生成部 19 と有する。



添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称： テレビ放送受信装置、取得目的情報生成方法

技術分野

- [0001] 本発明は、テレビ放送受信装置がウェブページの情報を取得するための情報を生成する技術に関する。

背景技術

- [0002] 近年、デジタル放送が開始され、デジタル放送とともに番組情報がテレビ放送受信装置により受信できるようになった。一方、多くの人が、テレビ番組を視聴しながら、視聴している番組に関係のあることをパソコン等で検索している。そのため、テレビ放送受信装置と検索との連携が重要になってきている。
- [0003] これまでに、テレビ放送信号の受信と検索とを組み合わせた技術が提案されている。例えば、ユーザが操作途中の状態を表すURLをクエリ文字列とともに覚えておき、後でそのURLにアクセスすることにより、以前にアクセスしたのと同じ状態でアクセスできる技術が提案されている（例えば、特許文献1参照）。

先行技術文献

特許文献

- [0004] 特許文献1：特開平10-307795号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

- [0005] しかしながら、番組情報を元に例えば買い物をするとき、番組名や出演者等その時々により検索したい情報が変わり、それに対応してクエリ文字列を変更する必要がある。また、検索するサイトにおいて、クエリ文字列の構成

が時間とともに変化する問題がある。従来の技術では、それらの問題を解決することができない。つまり、番組情報を元にインターネットを用いて検索を行う従来の技術は、ユーザの利便性が良くない。

[0006] 本発明は、番組情報を元にインターネットを用いて検索を行う際、ユーザの利便性を従来より高めた技術を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0007] 上記課題を解決し上記目的を達成するために、本発明のテレビ放送受信装置は、テレビ放送信号を受信する受信部と、前記受信部によって受信されたテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させる画像表示制御部と、前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得する番組情報取得部と、前記番組情報取得部によって取得された番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させる番組表表示制御部と、前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を外部操作に基づいて選択する番組選択部と、前記番組情報取得部によって取得された番組情報の中から前記番組選択部によって選択された番組に関連するキーワードを抽出する抽出部と、一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報と、それら一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける前記抽出部によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則とを取得するサイト情報取得部と、前記サイト情報取得部によって取得された一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させるサイト名表示制御部と、前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を外部操作に基づいて選択するサイト名選択部と、前記サイト情報取得部によって取得された取得目的情報生成規則にしたがって、前記サイト情報取得部によって取得された所在情報を利用して、前記サイト名選択部によって選択された名称のウェブサイトにおける、前記抽出部によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための

取得目的情報を生成する生成部とを有する。

[0008] 本発明の取得目的情報生成方法は、テレビ放送信号を受信するステップと、受信したテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させるステップと、前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得するステップと、取得した番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させるステップと、前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を指示に基づいて選択するステップと、取得した番組情報の中から選択した番組に関連するキーワードを抽出するステップと、一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報と、それら一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける抽出したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則とを取得するステップと、取得した一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させるステップと、前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を指示に基づいて選択するステップと、取得した取得目的情報生成規則にしたがって、取得した所在情報を利用して、選択した名称のウェブサイトにおける、抽出したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するステップとを含む。

[0009] 本発明のプログラムは、テレビ放送信号を受信する機能と、受信したテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させる機能と、前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得する機能と、取得した番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させる機能と、前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を指示に基づいて選択する機能と、取得した番組情報の中から選択した番組に関連するキーワードを抽出する機能と、一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報と、それら一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける抽出し

たキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則とを取得する機能と、取得した一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させる機能と、前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を指示に基づいて選択する機能と、取得した取得目的情報生成規則にしたがって、取得した所在情報を利用して、選択した名称のウェブサイトにおける、抽出したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成する機能とをコンピュータに実現させるためのプログラムである。

[0010] 本発明のテレビ放送受信装置は、テレビ放送信号を受信する放送信号受信部と、前記放送信号受信部によって受信されたテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させる画像表示制御部と、前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得する番組情報取得部と、前記番組情報取得部によって取得された番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させる番組表表示制御部と、前記表示装置によって表示された番組表の中から一つの番組を外部操作に基づいて選択する番組選択部と、前記番組情報取得部によって取得された番組情報の中から前記番組選択部によって選択された番組に関連するキーワードを抽出する抽出部と、一つ又は複数のウェブサイトの名称を外部から取得するサイト情報取得部と、前記サイト情報取得部によって取得された一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させるサイト名表示制御部と、前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を外部操作に基づいて選択するサイト名選択部と、前記サイト名選択部によって選択されたウェブサイトの名称と前記抽出部によって抽出されたキーワードとを外部に送信する送信部と、外部から、前記サイト名選択部によって選択された名称のウェブサイトにおける、前記抽出部によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的

情報を受信するアクセス情報受信部とを有する。

[0011] 本発明の取得目的情報生成装置は、一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報と、それら一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける与えられたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則とを保持する保持部と、前記保持部によって保持されている一つ又は複数のウェブサイトの名称をテレビ放送受信装置に送信するサイト情報送信部と、ウェブサイトの名称とキーワードとを前記テレビ放送受信装置から受信する受信部と、前記保持部によって保持されている取得目的情報生成規則にしたがって、前記受信部によって受信された名称のウェブサイトにおける、前記受信部によって受信されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成する生成部と、前記生成部によって生成された取得目的情報を前記テレビ放送受信装置に送信するアクセス情報送信部とを有する。

[0012] 本発明のテレビ放送システムは、テレビ放送信号を受信し、受信したテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させるテレビ放送受信装置と、一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報を保持する取得目的情報生成装置とを有し、前記テレビ放送受信装置は、前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得して、その取得した番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させ、前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を外部操作に基づいて選択し、取得した番組情報の中から、外部操作に基づいて選択した番組に関連するキーワードを抽出し、一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記取得目的情報生成装置から取得し、取得した一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させ、前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を外部操作に基づいて選択し、この選択したウェブサイトの名称と抽出したキーワードとを前記取得目的情報生成装置に送信し、前記取得目的情報生成装置は、前記一つ又は複数の

ウェブサイトの中の一つにおける、与えられたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則をも保持しており、ウェブサイトの名称とキーワードとを前記テレビ放送受信装置から受信し、前記取得目的情報生成規則にしたがって、受信した名称のウェブサイトにおける、受信したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成し、生成した取得目的情報を前記テレビ放送受信装置に送信し、前記テレビ放送受信装置は、前記取得目的情報生成装置から、生成された取得目的情報を受信する。

- [0013] 本発明の取得目的情報生成方法は、テレビ放送受信装置が、テレビ放送信号を受信し、受信したテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させ、前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得して、その取得した番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させ、前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を外部操作に基づいて選択し、取得した番組情報の中から、外部操作に基づいて選択した番組に関連するキーワードを抽出し、一つ又は複数のウェブサイトの名称を取得目的情報生成装置から取得し、取得した一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させ、前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を外部操作に基づいて選択し、この選択したウェブサイトの名称と抽出したキーワードとを前記取得目的情報生成装置に送信し、前記取得目的情報生成装置が、ウェブサイトの名称とキーワードとを前記テレビ放送受信装置から受信し、前記一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける与えられたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則にしたがって、受信した名称のウェブサイトにおける、受信したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成し、生成した取得目的情報を前記テレビ放送受信装置に送信し、前記テレビ放送受信装置が、前記取得目的情報生成装置から

、生成された取得目的情報を受信する方法である。

発明の効果

[0014] 本発明は、番組情報を元にインターネットを用いて検索を行う際、ユーザの利便性を従来より高めた技術を提供することができる。

図面の簡単な説明

[0015] [図1]実施の形態1のテレビ放送システムの第1の構成図である。

[図2]表示装置の画面に表示された番組表の一例を示す図である。

[図3]図2の番組表の中の「日本グルメの旅」という名称の番組が選択されている状況を示す図である。

[図4]図3の番組表の上に表示された四つの買い物サイトの名称の一覧の一例を示す図である。

[図5]四つの買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則との一例を示す図である。

[図6]「ラプラタ. c o. j p」という名称の買い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの検索結果の例を示す図である。

[図7]実施の形態1のテレビ放送システムの第2の構成図である。

[図8]実施の形態1のテレビ放送受信装置の動作の各手順を示すフローチャートである。

[図9]実施の形態2のテレビ放送システムの構成図である。

[図10]図9の取得目的情報生成装置の保持部が、四つの買い物サイトの名称と、取得目的情報生成規則とを別個に保持していることを示す図である。

[図11]図9の取得目的情報生成装置の保持部が保持している四つの買い物サイトの名称を特定する `shopping site. html` の文書ファイルの内容を示す図である。

[図12]実施の形態2の取得目的情報生成装置の生成部が取得目的情報を生成する際の動作の各手順を示す第1のフローチャートである。

[図13]実施の形態2の取得目的情報生成装置の生成部が取得目的情報を生成

する際の動作の各手順を示す第2のフローチャートである。

[図14]実施の形態3のテレビ放送システムの構成図である。

[図15]取得目的情報を生成するための情報を含むhtml文書の一例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0016] 以下に、本発明を実施するための形態を図面を参照して説明する。

[0017] (実施の形態1)

先ず、実施の形態1のテレビ放送システムの構成を図1を用いて説明する。図1は、実施の形態1のテレビ放送システムの構成図である。

[0018] 図1に示すように、実施の形態1のテレビ放送システムは、テレビ放送受信装置100と、サイト情報提供装置200とを有する。図1には、テレビ放送システムの外部の装置等として、アンテナ700、表示装置300、スピーカ400、インターネット500、及び、買い物サイト600も表示されている。テレビ放送受信装置100、サイト情報提供装置200、及び、買い物サイト600は、インターネット500に接続される。アンテナ700、表示装置300及びスピーカ400は、テレビ放送受信装置100に接続される。買い物サイト600は、インターネット500を介して行う買い物を実現するためのウェブサイトである。なお、図1は、テレビ放送受信装置100が有する機能に着目した実施の形態1のテレビ放送システムの構成図である。

[0019] テレビ放送受信装置100は、デジタルのテレビ放送信号を受信して復号するとともに、買い物サイト600にアクセスする装置である。テレビ放送受信装置100は、複数の構成部を有している。それら複数の構成部の説明は後に行う。サイト情報提供装置200は、一つ以上の買い物サイトの名称及び所在情報を保持している。また、サイト情報提供装置200は、それら一つ以上の買い物サイトの中の一つにおける、与えられたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報(URL: Uniform Resource Locator)を生成するための取得目的情報生成規則をも保持している。

。すなわち、一つ以上の買い物サイトの中の一つにおける与えられたキーワードに関連するウェブページの情報とは、例えば、一つ以上の買い物サイトの中の一つに、上記取得目的情報生成規則を用いて生成された取得目的情報によってアクセスして得られる情報である。また、サイト情報提供装置 200 が保持している情報については、後に図 5 を用いて詳述する。

[0020] 次に、テレビ放送受信装置 100 の各構成部を説明する。図 1 に示すように、テレビ放送受信装置 100 は、本体 100A と、リモコン 100B とによって構成されている。本体 100A は、テレビ放送信号の受信及び復号等の処理を実行する装置であり、リモコン 100B は、本体 100A が実行することができる処理に対するユーザの制御指示をユーザから受け付けてその指示を赤外線により本体 100A に送信する装置である。

[0021] 本体 100A は、受信部 1 と、デスクランブル部 2 と、分離部 3 と、放送データ保持部 4 と、画像表示制御部 5 と、音出力制御部 6 と、番組表表示制御部 7 と、サイト名表示制御部 8 と、ウェブページ情報表示制御部 9 と、番組情報取得部 10 と、番組情報保持部 11 と、サイト情報取得部 12 と、サイト情報保持部 13 と、番組表表示指示受付部 14 と、番組選択部 15 と、抽出部 16 と、サイト名表示指示受付部 17 と、サイト名選択部 18 と、生成部 19 と、サイトアクセス部 20 とを有する。

[0022] 受信部 1 は、ユーザが視聴するテレビ番組のチャンネルの選択をユーザから受け付け、アンテナ 700 からのデジタルテレビの放送信号を受信し、受信したテレビ放送信号の中からユーザによって選択されたチャンネルの信号を抽出してデスクランブル部 2 に出力する。また、受信部 1 は、番組情報と、ユーザによって選択されたチャンネルのビデオデータ及びオーディオデータとを含むテレビ放送信号をデスクランブル部 2 に出力する。

[0023] デスクランブル部 2 は、受信部 1 から一つのチャンネルのビデオデータ及びオーディオデータと番組情報とを含むテレビ放送信号を受け取り、受け取ったテレビ放送信号がスクランブル処理された信号である場合、デスクランブル処理を行って、デスクランブル処理したテレビ放送信号を分離部 3 に出

力する。受信部 1 が出力するテレビ放送信号がスクランブル処理されていない信号である場合、デスクランブル部 2 は、受信部 1 からのテレビ放送信号をそのままの状態で分離部 3 に出力する。

[0024] 分離部 3 は、デスクランブル部 2 からのデジタルテレビの放送信号を、ビデオデータと、オーディオデータと、番組情報とに分割してそれらを別々に放送データ保持部 4 に蓄積する。また、分離部 3 は、蓄積したビデオデータを画像表示制御部 5 に出力し、蓄積したオーディオデータを音出力制御部 6 に出力する。

[0025] 画像表示制御部 5 は、分離部 3 からのビデオデータを受け取って復号し、復号したビデオデータに対応する画像を表示装置 300 に表示させる。また、画像表示制御部 5 は、必要に応じて、後述する番組表表示制御部 7、サイト名表示制御部 8、ウェブページ情報表示制御部 9 から供給される情報を、ビデオデータに合成、またはビデオデータと切換えて表示装置 300 に表示させる。

[0026] 音出力制御部 6 は、分離部 3 からのオーディオデータを受け取って復号し、復号したオーディオデータに対応する音をスピーカ 400 の外部に出力させる。

[0027] 番組表表示制御部 7 は、放送データ保持部 4 から番組情報を取得し、又は番組情報保持部 11 から番組情報を取得し、取得した番組情報から番組表を生成し、画像表示制御部 5 を介して表示装置 300 に表示させる。番組情報取得部 10 及び番組情報保持部 11 の詳細は後述する。サイト名表示制御部 8 は、サイト情報保持部 13 から一つ以上の買い物サイトの名称を取得し、取得した買い物サイトの名称の一覧を画像表示制御部 5 を介して表示装置 300 に表示させる。サイト情報保持部 13 の詳細は後述する。ウェブページ情報表示制御部 9 は、生成部 19 によって生成される取得目的情報を用いて、一つ以上の買い物サイトの中の一つにおける、与えられたキーワードに関連するウェブページの情報を取得して、画像表示制御部 5 を介して表示装置 300 に表示させる。

[0028] 番組情報取得部 10 は、インターネット 500 を介して番組情報を取得する。例えば、番組情報取得部 10 は、本体 100A の電源がオフからオンに変化したとき、すなわち本体 100A が起動したとき、番組情報を取得する。また例えば、番組情報取得部 10 は、番組表表示指示受付部 14 が番組表を表示させる指示を受け付けたとき、番組情報を取得する。なお、番組情報は、番組表を生成するための各番組の放送開始時刻や番組名等の情報を含むとともに、各番組の番組説明等の付加的な情報を含む。番組情報保持部 11 は、番組情報取得部 10 によって取得された番組情報を保持する。

[0029] サイト情報取得部 12 は、サイト情報提供装置 200 の所在情報（URL）を保持しており、保持している所在情報に基づいて、インターネット 500 を介してサイト情報提供装置 200 にアクセスし、サイト情報提供装置 200 から、一つ以上の買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを取得する。例えば、サイト情報取得部 12 は、本体 100A の電源がオフからオンに変化したとき、すなわち本体 100A が起動したとき、一つ以上の買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを取得する。また例えば、サイト情報取得部 12 は、番組表が番組表表示制御部 7 の制御によって表示装置 300 に表示されはじめたとき、一つ以上の買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを取得する。また例えば、サイト情報取得部 12 は、サイト名表示指示受付部 17 がサイトの名称を表示させる指示を受け付けたとき、登録された買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを取得する。サイト情報保持部 13 は、サイト情報取得部 12 によって取得された全ての買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを保持する。買い物サイトの名称、所在情報、及び、取得目的情報生成規則の詳細は、図 5 を用いて後述する。

[0030] 番組表表示指示受付部 14 は、番組表を表示させる指示を受け付ける。例えば、ユーザが番組表を表示させることを目的としてリモコン 100B の番組表ボタン 33 を押下する。そうすると、リモコン 100B に内蔵されてい

る検出部が、番組表ボタン 33 が押下されたことを検出し、リモコン 100B に内蔵されている赤外線送信部が番組表を表示させる指示を赤外線により送信する。番組表表示指示受付部 14 は、番組表を表示させる指示をリモコン 100B から受け付け、その指示を番組表表示制御部 7 に出力する。番組表表示制御部 7 は、番組表表示指示受付部 14 からの番組表を表示させる指示にしたがって、放送データ保持部 4、又は番組情報保持部 11 から番組情報を取得し、この番組情報から番組表を生成して、図 2 に示すように画像表示制御部 5 を介して表示装置 300 の画面 300A に表示させる。図 2 は、表示装置 300 の画面 300A に表示された番組表 303 の一例を示す図である。

[0031] 図 2 において、番組表 303 が表示されている画面 300A には、上方の左端寄りに画面タイトル表示欄 301 が表示されており、上方の右端寄りに時刻表示欄 302 が表示されている。画面タイトル表示欄 301 には、「番組表」という文字列が表示されている。それは、画面 300A において番組表 303 が表示されていることを示している。時刻表示欄 302 には、現在時刻が表示されている。図 1 には示されていないがテレビ放送受信装置 100 は RTC (Real Time Clock) を備えており、番組表表示制御部 7 は、RTC から現在時刻を取得し、時刻表示欄 302 に現在時刻が表示させる。RTC については、図 7 を用いて後述する。

[0032] 画面タイトル表示欄 301 及び時刻表示欄 302 の下方に、すなわち、画面 300A の大部分に、番組表 303 が表示されている。番組表 303 は、新聞のラジオテレビ欄に近似している。番組表 303 において、垂直軸 304 は番組の放送時間帯を示しており、水平軸 305 は放送局を示している。図 2 では、番組表 303 は、MHK テレビ、関東テレビ、及び横浜放送の三つの放送局の 7:00 台から 9:00 台までの各番組の名称とその放送時間帯とを示している。具体的には、図 2 の番組表 303 は、例えば、MHK テレビが 7:00~7:30 に「MHK ニュース天気」という番組が放送し、関東テレビが 8:00~9:00 に「ミュージックビデオ」という番組が放

送することを示している。

[0033] ところで、番組表表示制御部 7 は、番組表 303 において、選択された何れかの一つの番組の名称を含む領域を、選択されていない番組の名称を含む領域と区別して表示させる。ユーザが特に操作していない場合であっても、番組表表示制御部 7 は、番組表 303 の左端の最上部の領域に記載されている名称の番組等の特定の番組が選択されているとみなし、選択されているとみなした番組の名称を含む領域を、選択されていないとみなした番組の名称を含む領域と区別して表示させる。図 2 では、選択されている番組の名称を含む領域は、太い実線で囲まれている。すなわち、図 2 の番組表 303 では、MHK テレビが 7 : 00 ~ 7 : 30 に放送する「MHK ニュース天気」という番組が選択されており、番組表表示制御部 7 は、その番組の名称を含む領域を太い実線で囲んで表示させている。図 1 に戻る。

[0034] 番組選択部 15 は、表示装置 300 の画面 300A に表示された番組表 303の中から一つの番組の選択を受け付ける。例えば、番組選択部 15 は、番組表 303 の中の一つの番組の選択をリモコン 100B から受け付ける。番組選択部 15 は、一つの番組の選択を受け付けると、その選択結果を番組表表示制御部 7 に出力する。番組表表示制御部 7 は、番組選択部 15 からの一つの番組の選択結果にしたがって、上述したようにして、選択された番組の名称を含む領域を、その他の番組の名称を含む領域と区別して表示させる。

[0035] 例えば、画面 300A に番組表 303 が表示されており、既にいずれかの番組が選択されている場合、ユーザがリモコン 100B の十字キー 34 のいずれかのボタンを押す。リモコン 100B に内蔵されている図示されていない検出部は、ボタンが一回押下される毎に、上下左右のいずれのボタンが押下されたのかを検出し、リモコン 100B に内蔵されている図示されていない赤外線送信部は、検出結果を赤外線により番組選択部 15 に送信する。番組選択部 15 は、リモコン 100B からの検出結果を受信し、検出結果に基づいて、番組表 303 においてそれまでに選択されていた番組の名称を含む

領域から上下左右のいずれかに一つ移動した領域に記載されている名称の番組が新たに選択された番組であると判断し、その番組を太い実線で囲む。

[0036] 具体的には、図2の番組表303が表示されていて、太い実線で囲まれている「MHKニュース天気」という名称の番組が選択されている状況において、ユーザがリモコン100Bの十字キー34の下ボタンを2回押下したと仮定する。その場合、番組選択部15は、図2の番組表303において、「MHKニュース天気」という名称を含む領域の二つ下方に存在している、MHKテレビが8:00~9:00に放送する「日本グルメの旅」という名称の番組の選択を受け付ける。そうすると、図3に示すように、番組表表示制御部7は、「日本グルメの旅」という名称の番組が選択されていることを示すために、番組表303において、「日本グルメの旅」という名称を含む領域を太い実線で囲んでその他の番組の名称を含む領域と区別して表示させる。

[0037] 抽出部16は、放送データ保持部4によって保持されている番組情報の中から、又は、番組情報保持部11によって保持されている番組情報の中から、番組選択部15によって最終的に受け付けられた選択に対応する番組に関連するキーワードを抽出する。例えば、番組に関連するキーワードは、番組の名称である。抽出部16には、番組に関連する何れの事項のデータをキーワードとして抽出すべきであるのかを特定する抽出規則があらかじめ与えられおり、抽出部16は抽出規則にしたがって、番組に関連する何れかの事項のデータをキーワードとして抽出する。なお、その規則は、ユーザが設定してもよいし変更してもよい。

[0038] サイト名表示指示受付部17は、図3に示すように特定の番組が選択されている状態を番組選択部15が受けた後、全部の買い物サイトの名称を表示させる指示を受け付ける。ユーザが全部の買い物サイトの名称を表示させることを目的としてリモコン100Bの買い物ボタン32を押下する。そうすると、リモコン100Bの検出部がリモコン100Bの買い物ボタン32が押されたことを検出し、リモコン100Bの赤外線送信部が全部の買い物サ

イトの名称を表示させる指示を赤外線によりサイト名表示指示受付部 17 に送信する。サイト名表示指示受付部 17 は、全部の買い物サイトの名称を表示させる指示をリモコン 100B から受け付け、その指示をサイト名表示制御部 8 に出力する。サイト名表示制御部 8 は、全部の買い物サイトの名称を表示させる指示にしたがって、サイト情報保持部 13 から、保持された四つの買い物サイトの名称を取得する。そして、サイト名表示制御部 8 は、図 4 に示すように、取得した買い物サイトの名称の一覧 308 を表示装置 300 の画面 300A の番組表 303 の上に表示させる。図 4 は、図 3 の番組表 303 の上に買い物サイトの名称の一覧 308 が表示された状態の一例を示す図である。図 1 に戻る。

[0039] サイト名選択部 18 は、表示装置 300 の画面 300A の番組表 303 の上に表示させた買い物サイトの名称の一覧 308の中から一つのサイトの名称を選択して決定する。まずサイト名選択部 18 は、買い物サイトの名称の一覧 308 の中の一つのサイトの名称の選択をリモコン 100B の十字キー 34 の上下ボタンのユーザ操作により受け付ける。サイト名選択部 18 は、選択されたサイトの名称に応じて、どのサイトの名称が選択されているかという情報をサイト名表示制御部 8 に出力する。サイト名表示制御部 8 は、サイト名選択部 18 からのどのサイトの名称が選択されているかという情報にしたがって、一覧 308 において、選択されたサイトの名称を含む領域を、その他のサイトの名称を含む領域と区別して表示させる。たとえば図 4 では太い実線で囲んで表示している。

[0040] ユーザが何も操作していない場合であっても、サイト名表示制御部 8 は、一覧 308 の最上部の領域に記載されているサイトの名称等の特定のサイトの名称が選択されているとし、選択しているとしたサイトの名称を含む領域を、選択されていないとしたサイトの名称を含む領域と区別して表示させる。図 4 では、選択されているサイトの名称を含む領域は、太い実線で囲まれている。すなわち、図 4 の一覧 308 では、「ラプラタ. co. jp」というサイトの名称が選択されており、サイト名表示制御部 8 は、そのサイトの

名称を含む領域を太い実線で囲んで表示させている。なお、図4では、選択された番組の名称を含む領域は、太い破線で囲まれている。

[0041] 以下、上記内容を詳細に説明する。画面300Aに一覧308が表示されており、既にいずれかのサイトの名称が選択されている場合、ユーザがリモコン100Bの十字キー34の上ボタン又は下ボタンを押す。リモコン100Bの検出部は、ボタンが一回押下される毎に、上下のいずれのボタンが押下されたのかを検出し、リモコン100Bの赤外線送信部は、ボタンが押下された情報を赤外線により送信する。サイト名選択部18は、リモコン100Bからの押下情報を受信し、押下情報に基づいて、一覧308においてそれまでに選択されていたサイトの名称を含む領域から上下のいずれかに一つ移動した領域に記載されているサイトの名称が新たに選択されたサイトの名称であると判断する。そしてそれにより、サイト名選択部18は、一覧308の中から一つのサイトの名称の選択を受け付け、サイト名表示制御部8は、その新たに選択されたサイトの名称を含む領域をその他のサイトの名称を含む領域と区別して表示させる。

[0042] 具体的には、図4の一覧308が表示されており、太い実線で囲まれている「ラプラタ. co. jp」というサイトの名称が選択されている状況において、ユーザがリモコン100Bの十字キー34の下ボタンを2回押下したと仮定する。その場合、サイト名選択部18は、一覧308において、「ラプラタ. co. jp」というサイトの名称を含む領域の二つ下方に存在している「値段. com」というサイトの名称を選択した状態に移行する。そうすると、サイト名表示制御部8は、「値段. com」というサイトの名称が選択されていることを示すために、一覧308において、「値段. com」というサイトの名称を含む領域を太い実線で囲んでその他のサイトの名称を含む領域と区別して表示させる。

[0043] そしてユーザは、一覧308において、現在、他のサイトの名称を含む領域と区別して表示されている領域に含まれるサイトの名称を最終的に選択する一つのサイトの名称として決めると、リモコン100Bの十字キー34の

中央の決定ボタンを押下する。サイト名選択部 18 は、リモコン 100B からの決定ボタンが押下されたことを示す信号を受信し、一覧 308 の中から最終的に一つのサイトの名称の決定を受け付ける。

[0044] 生成部 19 は、取得目的情報生成規則にしたがって、サイト名選択部 18 によって最終的に決定された名称の買い物サイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報（URL）を生成する。なお、取得目的情報生成規則は、サイト情報取得部 12 によって取得される情報であって、生成部 19 は、サイト情報保持部 13 から取得目的情報生成規則を取得する。また、生成部 19 が有する取得目的情報を生成する機能は、後に図 5 を用いて、サイト情報取得部 12 がサイト情報提供装置 200 から取得する買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを説明する際に、併せて説明する。

[0045] サイトアクセス部 20 は、生成部 19 によって生成された取得目的情報（URL）を用いて、サイト名選択部 18 によって決定された名称の買い物サイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報をインターネット 500 を介して取得し、取得した情報をウェブページ情報表示制御部 9 に出力する。ウェブページ情報表示制御部 9 は、生成部 19 によって生成された取得目的情報を用いてサイトアクセス部 20 によって取得された、サイト名選択部 18 によって決定された名称の買い物サイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報をサイトアクセス部 20 から受け取り、その情報を、画像表示制御部 5 を介して表示装置 300 の画面 300A に表示させる。

[0046] 次に、リモコン 100B の構成を説明する。リモコン 100B は、上述したように、本体 100A が実行することができる処理に対するユーザの制御指示を受け付けてその指示を赤外線により本体 100A に送信し、その指示に対する処理を本体 100A に実行させる。リモコン 100B は、図 1 に示すように、テンキー 31 と、買い物ボタン 32 と、番組表ボタン 33 と、十字キー 34 とを有する。テンキー 31 は、ユーザが数字を入力するためのキ

一である。買い物ボタン32は、ユーザが、本体100Aが表示させることができる買い物サイトの名称を表示させる指示を入力するためのボタンである。番組表ボタン33は、ユーザが番組表を表示させる指示を入力するためのボタンである。十字キー34は、ユーザが番組及びサイトの名称を選択するためのキーである。十字キー34の中央には、決定ボタンが設けられている。リモコン100Bには、図1には表示されていないが、上述した検出部及び赤外線送信部が内蔵されている。検出部は、ユーザが買い物ボタン32、番組表ボタン33、及び十字キー34の押下を検出する。赤外線送信部は、検出部によって検出された押下されたボタンを示す信号を赤外線によって本体100Aに送信する。

[0047] 次に、本実施例の最重要部であるサイト情報取得部12が取得するサイト情報提供装置200によって保持されている一つ以上の買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを図5を用いて説明する。図5は、例として四つの買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則との一例を示す図である。図5は、html文書であって、その文書は、四つの買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを有している。

[0048] 具体的には、図5のhtml文書では、head部に、すなわち、<head>から</head>までに、四つのmetaタグが定義されている。各metaタグは、買い物サイトの名称と、そのサイトの含む所在情報とを表している。

[0049] より具体的には、各metaタグにおいて、「shopping-site1=」に続く文字列が、買い物サイトの名称である。例えば最初のmetaタグでは、「shopping-site1="ラプラタ.co.jp"」が記載されており、それは、買い物サイトの名称が「ラプラタ.co.jp」であることを示している。図5のhtml文書では、四つのmetaタグから明らかなように、買い物サイトの名称として、「ラプラタ.co.jp」と、「mahoo shopping」と、「値段.com」と、「b

i t t e r」との四つの買い物サイトの名称が定義されている。そのため、図4を用いて説明したように、サイト名表示制御部8は、それら四つの買い物サイトの名称の一覧308を表示装置300の画面300Aの番組表303の上に表示させる。ここに定義された数と同じ数の買い物サイトの名称が買い物サイトの名称の一覧308に表示される。

[0050] 図5のhtml文書は、取得目的情報生成規則が、各metaタグにおいて、「start=の直後の” ”により挟まれている文字列」+「キーワードをencode=の直後の” ”により挟まれている文字列により指定される文字コードに変換し、更にURLエンコードして得られる文字列」+「tail=の直後の” ”により挟まれている文字列」により、四つの買い物サイトの中の一つにおける、キーワードに関連するウェブページの情報を取得するため取得目的情報を生成する規則であることを示している。キーワードは、図1の抽出部16によって抽出される。

[0051] 例えば、ユーザが「日本グルメの旅」という名称の番組を選択して抽出部16がその番組の名称である「日本グルメの旅」をキーワードとして抽出し、かつ、ユーザが「ラプラタ.co.jp」という名称の買い物サイトを選択した場合、図1の生成部19は、図5のhtml文書を解析し、次のようにして、「ラプラタ.co.jp」という名称の買い物サイトにおける、「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成する。

[0052] 図5のhtml文書から明らかなように、「ラプラタ.co.jp」という名称の買い物サイトのmetaタグは、

```
<meta encode="SJIS" shopping-site1="ラプラタ.co.jp"
start="http://www.laplata.co.jp/s/keywords=" tail="" />
```

である。

[0053] 「metaタグのstart=の直後の” ”により挟まれている文字列」が

```
「start="http://www.laplata.co.jp/s/keywords="」
```

であるので、生成部 19 は、「start=の直後の” ” により挟まれている文字列」として、meta タグから

「http://www.laplata.co.jp/s/keywords=」

を抽出する。

- [0054] 次に、meta タグの「encode=の直後の” ” により挟まれている文字列」が” SJIS ” であるので、キーワードを変換する際の文字コードは「シフト JIS」である。そのため、生成部 19 は、抽出部 16 によってキーワードとして抽出された「日本グルメの旅」を「シフト JIS」の文字コードで表す。すなわち、生成部 19 は、キーワード「日本グルメの旅」を「0x93, 0xfa, 0x96, 0x7b, 0x83, 0x4f, 0x83, 0x8b, 0x83, 0x81, 0x82, 0xcc, 0x97, 0xb7」

に変換する。なお、「0x93, . . . , 0xb7」は、C 言語における 16 進数の表記方法を用いて記載している。更に、生成部 19 は、指定された文字コードにより得られた文字列を URL エンコードする。上記の例では「%93%fa%96%7b%830%83%8b%83%81%82%cc%97%b7」という文字列を生成する。また、上述したように、指定される文字コードは、買い物サイト毎に meta タグ内において定義されており、「mahoo shopping」という名称の買い物サイトについては、指定される文字コードは「EUC (Extended Unix Code ; “Unix” は登録商標である。)」である。

- [0055] 次に、生成部 19 は、meta タグの「tail=の直後の” ” により挟まれている文字列」は存在していないことを認識する。

- [0056] 最後に、生成部 19 は、取得目的情報生成規則にしたがって、「ラプラタ . co. jp」という名称の買い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報として、

「http://www.laplata.co.jp/s/keywords= %93%fa%96%7b%830%83%8b%83%81%82%cc%97%b7」

を生成する。なお、本実施の形態では、取得目的情報は、ユーザによって選

択された買い物サイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページを検索結果を得るための URL である。

[0057] サイトアクセス部 20 は、生成部 19 によって生成された取得目的情報を用いて、「ラプラタ. co. jp」という名称の買い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの情報を取得する。すなわち本実施の形態では、サイトアクセス部 20 は、生成部 19 によって生成された取得目的情報を用いて、「ラプラタ. co. jp」という名称の買い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの検索結果を取得する。ウェブページ情報表示制御部 9 は、図 6 に示すように、サイトアクセス部 20 によって取得された情報を画像表示制御部 5 を介して表示装置 300 の画面 300A に表示させる。図 6 は、「ラプラタ. co. jp」という名称の買い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの検索結果の例を示す図である。

[0058] 図 6 のウェブページの情報表示において、最上方に、買い物サイトの名称表示欄 601 が設けられており、買い物サイトの名称表示欄 601 に「ラプラタ. co. jp」が表示されている。買い物サイトの名称表示欄 601 の下方に、キーワード表示欄 602 が設けられており、キーワード表示欄 602 に「日本グルメの旅」が表示されている。また、図 6 のウェブページの情報表示において、検索ボタン 603 が表示されている。検索ボタン 603 は、元々は買い物サイトの名称表示欄 601 において表示されている名称の買い物サイトにおいて、キーワード表示欄 602 において表示されているキーワードに関連するウェブページの情報を検索させるためのボタンであるが、今回は URL を指定することにより直接検索するので使用しない。

[0059] また、図 6 のウェブページの情報表示において、キーワード表示欄 602 及び検索ボタン 603 の下方に、検索性数表示欄 604 が設けられている。検索性数表示欄 604 には、生成部 19 によって生成された取得目的情報を用いて行った検索により得られた件数が表示されている。より具体的には

、検索件数表示欄 604 には、全ての検索件数と、全ての検索件数のうちの現在表示されている件数とが表示されている。

[0060] 更に、検索件数表示欄 604 の下方に、検索結果表示欄 605 が設けられており、検索結果表示欄 605 には、生成部 19 によって生成された取得目的情報を用いて行った検索により得られた結果が表示されている。すなわち、検索結果表示欄 605 には、「ラプラタ. co. jp」という名称の買い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの検索結果が表示されている。より具体的には、全ての検索結果のうちの現在表示されている件数に対応する検索結果が表示されている。図 6 では、検索結果表示欄 605 には三つの検索結果が表示されており、それらのうちの一番上の「横浜菓子店」が選択されている。選択されているので、「横浜菓子店」は太字で表示されている。ユーザは、リモコン 100B の十字キー 34 の上下キーを押すことにより、PC により情報検索を行った場合と同様に、所望の選択肢を選択することができる。なお、検索結果表示欄 605 の右端に、上下スクロールバー 606 が設けられている。上下スクロールバー 606 は、PC により情報検索を行ったときに得られる検索結果が表示される際のバーと同様なバーであって、検索結果表示欄 605 に表示されている情報が全体のどの位置の情報であるのかを示す。図 6 では、上下スクロールバー 606 は、全部の検索結果のうちの先頭付近の検索結果が表示されていることを示している。

[0061] 買い物サイトの名称表示欄 601 において表示されている名称の買い物サイトにおいて、キーワード表示欄 602 において表示されているキーワードに関連するウェブページの情報を検索させるためには、通常の場合は、検索ボタン 603 を押下する必要がある。しかしながら、生成部 19 は、「ラプラタ. co. jp」という名称の買い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページを検索するための取得目的情報を生成する。これにより、ユーザは文字列を入力することなく、かつ、検索ボタン 603 を押下することなく、「ラプラタ. co. jp」という名称の買

い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの検索結果を取得させることができる。言い換えると、生成部 19 が取得目的情報を生成したことにより、「ラプラタ. co. jp」という名称の買い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの検索結果を取得させる状況を、ユーザは文字列を入力することなく、かつ、検索ボタン 603 を押下することなく実現させることができる。

[0062] 上述したように、図 1 は、テレビ放送受信装置 100 が有する機能に着目した実施の形態 1 のテレビ放送システムの構成図である。テレビ放送受信装置 100 が有するハードウェアに着目すると、実施の形態 1 のテレビ放送システムの構成は、図 7 に示すように表現される。図 7 は、テレビ放送受信装置 100 が有するハードウェアに着目したときの、実施の形態 1 のテレビ放送システムの構成図である。

[0063] ハードウェアに着目すると、テレビ放送受信装置 100 は、チューナ 51 と、デスクランブラ 52 と、デマルチプレクサ 53 と、デマルチプレクサ用 RAM 54 と、ビデオデコーダ 55 と、オーディオデコーダ 56 と、グラフィックス 57 と、CPU 58 と、ROM 59 と、RAM 60 と、フラッシュメモリ 61 と、RTC 62 と、リモコン I/F 63 と、ethernet I/F 64 と、バス 65 とを有する。テレビ放送受信装置 100 のバス 65 以外の全てのハードウェアは、バス 65 に接続されている。

[0064] 図 7 と図 1 と比較すると、チューナ 51 は、UHF アンテナ 700 からデジタルのテレビ放送信号を受信して、図 1 の受信部 1 の機能を実現する。デスクランブラ 52 は、図 1 のデスクランブル部 2 の機能を実現する。デマルチプレクサ 53 は、図 1 の分離部 3 の機能を実現する。デマルチプレクサ用 RAM 54 は、図 1 の放送データ保持部 4 の機能を実現する。ビデオデコーダ 55 は、図 1 の画像表示制御部 5 の機能を実現する。オーディオデコーダ 56 は、図 1 の音出力制御部 6 の機能を実現する。

[0065] グラフィックス 57 は、図 1 の画像表示制御部 5 の機能の一部と、番組表

表示制御部 7、サイト名表示制御部 8、及び、ウェブページ情報表示制御部 9 の機能とを実現する。CPU 58 は、フラッシュメモリ 61 に記憶されているプログラムを実行することにより、必要に応じて、図 1 のテレビ放送受信装置 100 内の各構成部の機能を実現させる。ROM 59 は、文字を表示する際に用いるフォント情報などを格納する。RAM 60 は、図 1 の番組情報保持部 11 及びサイト情報保持部 13 の機能を実現する。フラッシュメモリ 61 は、電源が切られてもそれまでに記憶した情報を記憶し続けるメモリであり、上記プログラムの他に、例えばユーザがどのチャンネルを選択してどの番組を視聴したのかを示す情報等を記憶する。

[0066] RTC 62 は、図 1 には表示されていないハードウェアである。RTC 62 は、内部に水晶発信器を有している時計である。ただし、RTC 62 は、テレビ放送信号から時刻情報を取得する時計であってもよいし、インターネット 500 を介して時刻情報を取得する時計であってもよい。リモコン I/F 63 は、CPU 58 と協調して番組表表示指示受付部 14、番組選択部 15、サイト名表示指示受付部 17、及び、サイト名選択部 18 の機能を実現する。ethernet I/F 64 は、CPU 58 と協調して番組情報取得部 10、サイト情報取得部 12、及び、サイトアクセス部 20 の機能を実現する。より具体的には、ethernet I/F 64 は、CPU 58 と協調して ethernet 800 を介してインターネット 500 に接続し、TCP/IP 又は HTTP 等の通信プロトコルにしたがって、番組情報取得部 10、サイト情報取得部 12、及び、サイトアクセス部 20 の機能を実現する。

[0067] 次に、テレビ放送受信装置 100 の動作の流れを図 8 を用いて説明する。図 8 は、テレビ放送受信装置 100 の動作の各手順を示すフローチャートである。

[0068] 先ず、受信部 1 は、ユーザが視聴するテレビ番組のチャンネルの選択をユーザから受け付け、デジタルのテレビ放送信号を受信し、受信したテレビ放送信号の中からユーザによって選択されたチャンネルの信号を抽出してデス

クランブル部2に出力する(S1)。デスクランブル部2は、受信部1からのテレビ放送信号がスクランブル処理された信号である場合、デスクランブル処理を行って、デスクランブル処理したテレビ放送信号を分離部3に出力する。他方、受信部1が出力するテレビ放送信号がスクランブル処理されていない信号である場合、デスクランブル部2は、受信部1からのテレビ放送信号をそのままの状態で分離部3に出力する。分離部3は、デスクランブル部2からのデジタルのテレビ放送信号を、ビデオデータと、オーディオデータと、番組情報とに分割してそれらを別々に放送データ保持部4に蓄積する。

[0069] 画像表示制御部5は、分離部3からビデオデータを受け取って復号し、復号したビデオデータに対応する画像を表示装置300に表示させる(S2)。音出力制御部6は、分離部3からのオーディオデータを受け取って復号し、復号したオーディオデータに対応する音をスピーカ400の外部に出力させる(S2)。

[0070] サイト情報取得部12は、インターネット500を介してサイト情報提供装置200にアクセスし、サイト情報提供装置200から、登録されている一つ以上の買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを取得する(S3)。サイト情報保持部13は、サイト情報取得部12によって取得された登録されている一つ以上の買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とを保持する。

[0071] 番組表表示指示受付部14は、番組表を表示させる指示を受け付ける。番組表表示制御部7は、番組表表示指示受付部14からの番組表を表示させる指示にしたがって、放送データ保持部4、又は番組情報保持部11から番組情報を取得し、この取得した番組情報に基づいて番組表を生成する。そして、図2に示すように、生成した番組表を画像表示制御部5を介して表示装置300の画面300Aに表示させる(S4)。番組選択部15は、表示装置300の画面300Aに表示された番組表303の中から一つの番組の選択と決定を受け付ける(S5)。抽出部16は、放送データ保持部4又は番組

情報保持部 11 によって保持されている番組情報の中から、番組選択部 15 によって最終的に選択され決定された番組に関連するキーワードを抽出する (S6)。

[0072] サイト名表示指示受付部 17 は、全部の買い物サイトの名称を表示させる指示を受け付け、サイト名表示制御部 8 は、全部の買い物サイトの名称を表示させる指示にしたがって、サイト情報保持部 13 から登録されている一つ以上の買い物サイトの名称を取得する。そして、サイト名表示制御部 8 は、図 4 に示すように、取得した登録されている買い物サイトの名称の一覧 308 を画像表示制御部 5 を介して表示装置 300 の画面 300A の番組表 303 の上に表示させる (S7)。サイト名選択部 18 は、画面 300A に表示させた登録されている一つ以上の買い物サイトの名称の一覧 308の中から一つのサイトの名称の選択と決定を受け付ける (S8)。

[0073] 生成部 19 は、本実施例の最重要部であり、サイト情報取得部 12 によって取得された取得目的情報生成規則にしたがって、サイト名選択部 18 によって最終的に決定された名称の買い物サイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報 (URL) を生成する (S9)。サイトアクセス部 20 は、生成部 19 によって生成された取得目的情報 (URL) を用いて、サイト名選択部 18 によって最終的に決定された名称の買い物サイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報をインターネット 500 を介して取得する (S10)。ウェブページ情報表示制御部 9 は、取得目的情報 (URL) を用いて取得された、サイト名選択部 18 によって最終的に決定された名称の買い物サイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を画像表示制御部 5 を介して表示装置 300 の画面 300A に表示させる (S11)。

[0074] 上述したように、テレビ放送受信装置 100 は、番組表を表示させ、番組表の中から一つの番組を選択して決定し、選択し決定された番組に関連するキーワードを番組表から抽出する。そして、テレビ放送受信装置 100 は、

ユーザからの買い物サイトの表示の指示を受けて登録されている一つ以上の買い物サイトの名称を表示させ、その中から一つの買い物サイトの名称を選択し決定する。そして、テレビ放送受信装置 100 は、選択し決定された番組に関連して抽出したキーワードと、選択し決定された名称の買い物サイトにおける、抽出したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報（URL）を生成する。このように、テレビ放送受信装置 100 は、たとえ同じ買い物サイトに対してクエリ文字列の構成が時間とともに変わっても、図 5 のサイト情報提供装置の定義さえ変更すれば一意のサイトにアクセスすることができる。また図 5 の定義を追加削除することで買い物サイトの名称の一覧 308 で表示させる買い物サイトの名称の数を変更できる。更にユーザに文字を入力させることなくユーザが視聴している番組に関連するキーワードに関連するウェブページの情報をユーザによって選択された買い物サイトから取得するための取得目的情報を生成することができる。つまり、テレビ放送受信装置 100 は、番組情報を元にインターネットを用いて検索を行う際、ユーザの利便性を従来より高めることを実現している。

[0075] なお、上述した実施の形態 1 では、図 1 によりテレビ放送受信装置 100 の機能的な構成を表現し、図 7 によりテレビ放送受信装置 100 のハードウェアの構成を表現した。しかしながら、テレビ放送受信装置 100 及びサイト情報提供装置 200 の各構成部の機能は、例えばコンピュータの CPU（プロセッサ）及びメモリ等のハードウェアと、その機能を実現するためのコンピュータプログラムとが協働することによって実現されてもよい。又は、上記各機能は、専用の回路により実現されてもよく、どのような形態により実現されてもよい。また、本実施の形態のテレビ放送受信装置 100 及びサイト情報提供装置 200 の全部の構成部の 1 個又は複数個の機能を実現するためのコンピュータプログラムは、記録媒体に格納されてもよい。

[0076] また、図 5 を用いて説明したように、登録されている買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とは、html 文書に含まれると限

定されない。登録されている買い物サイトの名称及び所在情報と、取得目的情報生成規則とは、x m l 文書等の他の形態であってもよい。

[0077] また、実施の形態 1 では、買い物サイトとして四つの買い物サイトを具体的に挙げて説明したが、買い物サイトの数はどのような数であってもよい。また、実施の形態 1 では、買い物サイトの名称を表示装置 300 の画面 300 A に表示させる際、リモコン 100 B の買い物ボタンを用いる例を説明したが、その他の手段が用いられてもよい。例えば、G U I を画面 300 A に表示させ、G U I を操作して買い物サイトの名称を表示装置 300 の画面 300 A に表示させる手段が用いられてもよい。

[0078] また、生成部 19 が取得目的情報を生成するために用いられる取得目的情報生成規則は、上述した規則に限定されない。例えば、買い物サイトとキーワードの配置が置き換えられる規則であってもよいし、文字列の一部を暗号化させる規則であってもよい。要するに、取得目的情報生成規則は、ユーザによって選択されたサイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報が生成するための規則であればよい。

[0079] 更に、取得目的情報として U R L を使用する例を説明してきたが、これに限らず、U R L と U s e r A g e n t とを組み合わせた情報など、他の情報を用いても良い。

[0080] また、抽出部 16 が抽出するキーワードは、番組の名称に限定されない。キーワードは、番組の出演者や、番組の撮影が行われた土地の名称等であってもよい。更に、買い物サイトは、別の種類のウェブサイトに置き換えられてもよい。例えば、買い物サイトは、出演者のホームページ等に置き換えられてもよい。

[0081] (実施の形態 2)

次に、実施の形態 2 のテレビ放送システムの構成を図 9 を用いて説明する。図 9 は、実施の形態 2 のテレビ放送システムの構成図である。

[0082] 図 9 に示すように、実施の形態 2 のテレビ放送システムの構成は、実施の

形態１のテレビ放送システムの構成とほぼ同様である。しかしながら、以下の点において、実施の形態２のテレビ放送システムは、実施の形態１のテレビ放送システムと異なる。実施の形態２では、実施の形態１との相違点を主に説明する。

[0083] 図９に示すように、実施の形態２のテレビ放送システムは、テレビ放送受信装置１０１と、取得目的情報生成装置２０１とを有する。実施の形態２のテレビ放送受信装置１０１は、実施の形態１のテレビ放送受信装置１００が有している大部分の構成部を有しているが、生成部１９を有していない。その代わりに、取得目的情報生成装置２０１が、生成部１９と同様の機能を有する生成部８３を有している。また、取得目的情報生成装置２０１は、実施の形態１のサイト情報提供装置２００が保持している情報と同様の情報を保持部８２により保持している。しかしながら、保持部８２が保持している情報の構成は、実施の形態１のサイト情報提供装置２００が保持している情報の構成と異なる。また、取得目的情報生成装置２０１は、通信部８１を有している。

[0084] 取得目的情報生成装置２０１の保持部８２は、四つの買い物サイトの名称及び所在情報と、それら登録されている一つ以上の買い物サイトの中の一つにおける、与えられたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則とを保持している。保持部８２は、登録されている買い物サイトの名称と、それらの所在情報と、取得目的情報生成規則とを一つの文書ではなく、別個に保持している。図１０は、保持部８２が、登録されている買い物サイトの名称と、取得目的情報生成規則とを別個に保持していることを示す図である。具体的には、図１０は、保持部８２が、登録されている一つ以上の買い物サイトの名称を特定するshopping site. htmlの文書ファイルと、取得目的情報生成規則を定義しているURL transfer. htmlの文書ファイルとを別個に保持していることを示す図である。

[0085] 保持部８２が保持している登録されている買い物サイトの名称を図１１を

用いて説明する。図11は、保持部82が保持している四つの買い物サイトの名称を特定するshopping site. htmlの文書ファイルの内容を示す図である。図11と図5とを比較すると明らかなように、shopping site. htmlの文書ファイルは、図5の各metaタグから「shopping-site1」により定義された文字列だけを含んでいる。

[0086] 実施の形態2のテレビ放送受信装置101のサイト情報取得部12は、登録されている一つ以上の買い物サイトの名称を取得する目的でインターネット500を介して取得目的情報生成装置201にアクセスする。その際、取得目的情報生成装置201の通信部81は、保持部82によって保持されている図11のshopping site. htmlの文書ファイルをインターネット500を介してサイト情報取得部12に送信する。サイト情報取得部12は、取得目的情報生成装置201の通信部81からの図11のshopping site. htmlの文書ファイルを受信し、その文書ファイルに四つの買い物サイトの名称が存在していることを解析し、それら四つの買い物サイトの名称をサイト情報保持部13に格納する。サイト名表示指示受付部17は、サイト情報保持部13に格納された四つの買い物サイトの名称を画像表示制御部5を介して表示装置300の画面300Aに表示させる。

[0087] 実施の形態1と同様にして、抽出部16がキーワードを抽出し、サイト名選択部18が一つの買い物サイトの名称を受け付ける。そうすると、サイトアクセス部20は、インターネット500を介して、取得目的情報生成装置201の保持部82が保持しているURL transfer. htmlの文書ファイルにアクセスする。URL transfer. htmlの文書ファイルは、上述したように、取得目的情報生成規則を定義しているファイルである。

[0088] その際、サイトアクセス部20は、取得目的情報生成装置201に取得目的情報を生成させるために、サイト名選択部18によって選択し決定された一つの買い物サイトの名称と、抽出部16によって抽出されたキーワードと

をアクセス情報に付加して取得目的情報生成装置 201 の保持部 82 が保持している `URLtransfer.html` の文書ファイルにアクセスする。具体的には、サイトアクセス部 20 は、`URLtransfer.html` の文書ファイルの URL のクエリースtring に、買い物サイトの名称と抽出されたキーワードとを引数として設定する。

[0089] より具体的には、`URLtransfer.html` の文書ファイルの URL が

「`http://www.URLServer.co.jp/URLtransfer.html`」であると仮定すると、サイトアクセス部 20 は、よりわかりやすくするためにあえて `URLtransfer.html` の文書ファイルの URL を URL エンコードする前の状態で記載したとき、その URL が例えば

「`http://www.URLServer.co.jp/URLtransfer.html?site=ラプラタ.co.jp&program=日本グルメの旅`」となるように、`URLtransfer.html` の文書ファイルの URL のクエリースtring に、買い物サイトの名称と抽出されたキーワードとを引数として設定する。上記の例では、サイトアクセス部 20 は、第 1 の query である `site=` に買い物サイトの名称である「ラプラタ.co.jp」を設定し、第 2 の query である `program=` キーワードである番組の名称「日本グルメの旅」を設定する。

[0090] サイトアクセス部 20 は、最終的には、

「`http://www.URLServer.co.jp/URLtransfer.html?site=ラプラタ.co.jp&program=日本グルメの旅`」を URL エンコードして、`URLtransfer.html` の文書ファイルの URL のクエリースtring に、買い物サイトの名称と抽出されたキーワードとを引数として設定した URL を生成する。すなわち、サイトアクセス部 20 は、最終的には、

「`http://www.URLServer.co.jp/URLtransfer.html?site=%3d%83%89%83v%83%89%83%5e.co.jp&program=%93%fa%96%7b%830%83%8b%83%81%82%cc%97%b7`」

という URL を生成する。そして、サイトアクセス部 20 は、生成した URL を用いて、取得目的情報生成装置 201 の保持部 82 が保持している URL

L t r a n s f e r . h t m l の文書ファイルにアクセスする。

[0091] 本実施例の要部である取得目的情報生成装置 201 では、通信部 81 が、サイトアクセス部 20 によってアクセスされた URL 中の q u e r y 文字列を生成部 83 に出力する。生成部 83 は、その URL を解析して第 1 の q u e r y と第 2 の q u e r y とを抽出し、保持部 82 によって保持されている取得目的情報生成規則にしたがって、実施の形態 2 のテレビ放送受信装置 101 のサイト名選択部 18 によって受け付けられた名称の買い物サイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成する。そして、通信部 81 が、生成部 83 によって生成された取得目的情報（URL）に移行するような h t m l 文書としてインターネット 500 を介してテレビ放送受信装置 101 に送信する。テレビ放送受信装置 101 のサイトアクセス部 20 は、取得目的情報生成装置 201 からの取得目的情報を受信し、その取得目的情報を用いて、実施の形態 1 と同様に、サイト名選択部 18 によって選択し決定された名称の買い物サイトにおける、抽出部 16 によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得する。

[0092] 以下に、生成部 83 が取得目的情報を生成する際の動作を図 12 を用いて説明する。図 12 は、実施の形態 2 の取得目的情報生成装置 201 の生成部 83 が取得目的情報を生成する際の動作の各手順を示す第 1 のフローチャートである。

[0093] 先ず、生成部 83 は、実施の形態 2 のテレビ放送受信装置 101 が取得目的情報生成装置 201 にアクセスした際に用いた URL 中の q u e r y 文字列を URL デコードする（S21）。すなわち、生成部 83 は、

「site=%3d%83%89%83v%83%89%83%5e.co.jp&program=%93%fa%96%7b%830%83%8b%83%81%82%cc%97%b7」を URL デコードする（S21）。

[0094] 次に、生成部 83 は、S i t e = で始まる第 1 の q u e r y 文字列の要素と、p r o g r a m = で始まる第 2 の q u e r y の文字列の要素とを抽出する（S22）。すなわち、生成部 83 は、第 1 の q u e r y 文字列の要素と

して買い物サイトの名称である「ラプラタ. co. jp」を抽出するとともに、第2のquery文字列の要素としてキーワードである番組の名称である「日本グルメの旅」を抽出する（S22）。

[0095] 次に、生成部83は、保持部82によって保持されている取得目的情報生成規則にしたがって、サイト名選択部18によって選択し決定された名称の買い物サイトにおける、抽出部16によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報（URL）を生成する（S23）。生成部83は、実施の形態1の生成部19が行ったアルゴリズムを用いて取得目的情報を生成してもよいし、その他のアルゴリズムを用いて取得目的情報を生成してもよい。生成部83はこのアルゴリズムを実行する手段として自由度が高いCGIプログラムやサーバレットを用いて取得目的情報を生成してもよい。

[0096] 生成部83が実施の形態1の生成部19が行ったアルゴリズムを用いて取得目的情報を生成する場合の取得目的情報を生成する際の動作を図13を用いて説明する。図13は、実施の形態2の取得目的情報生成装置201の生成部83が取得目的情報を生成する際の動作の各手順を示す第2のフローチャートである。

[0097] 先ず、生成部83は、買い物サイトの名称が「ラプラタ. co. jp」であるか否かを判断し（S31）、買い物サイトの名称が「ラプラタ. co. jp」であると判断した場合（S31でYes）、
<「http://www.laplata.co.jp/s/keywords=」+番組名>をSUISに変換して、更にURLエンコードした文字列を取得目的情報として生成する（S32）。

[0098] 生成部83は、ステップS31において、買い物サイトの名称が「ラプラタ. co. jp」ではないと判断した場合（S31でNo）、買い物サイトの名称が「mahoo shopping」であるか否かを判断し（S33）、買い物サイトの名称が「mahoo shopping」であると判断した場合（S33でYes）、

＜「http://www.shopping.co.jp/search?P=」＋番組名＞をＥＵＣに変換して、更にＵＲＬエンコードした文字列を取得目的情報として生成する（Ｓ３４）。

[0099] 生成部８３は、ステップＳ３３において、買い物サイトの名称が「mahoo shopping」ではないと判断した場合（Ｓ３３でＮｏ）、買い物サイトの名称が「値段.com」であるか否かを判断し（Ｓ３５）、買い物サイトの名称が「値段.com」と判断した場合（Ｓ３５でＹｅｓ）、

＜「http://nedan.com/tv/search/kw=」の文字列＞をＵＲＬエンコードし取得目的情報として生成する（Ｓ３６）。

[0100] 生成部８３は、ステップＳ３５において、買い物サイトの名称が「値段.com」ではないと判断した場合（Ｓ３５でＮｏ）、買い物サイトの名称が「bitter」であるか否かを判断し（Ｓ３７）、買い物サイトの名称が「bitter」と判断した場合（Ｓ３７でＹｅｓ）、
＜「http://www.bitter.co.jp/dap/sv/list1?keyword=」＞の文字列をＵＲＬエンコードし取得目的情報として生成する（Ｓ３８）。

[0101] 生成部８３は、ステップＳ３７において、買い物サイトの名称が「bitter」ではないと判断した場合（Ｓ３７でＮｏ）、買い物サイトの名称が不明であることを示す取得目的情報を生成する（Ｓ３９）。図１２に戻る。

[0102] 図１２のステップＳ２３の次のステップＳ２４において、生成部８３は、ステップＳ２３において生成した取得目的情報（ＵＲＬ）へ移行するようなhtml文書を生成する。具体的にはhtml文書のhead要素の中に、下記の式（１）

＜meta http-equiv="Refresh" content="0;URL=取得目的情報（URL）">・・・
（１）

を記述し、式（１）が含まれていて式（１）の文字列がリンクされたhtml文書を生成する（Ｓ２４）。

[0103] 最後に、通信部８１は、式（１）が含まれたhtml文書を、すなわち取

得目的情報が含まれているhtml文書を、インターネット500を介してテレビ放送受信装置101に送信する。テレビ放送受信装置101のサイトアクセス部20は、取得目的情報生成装置201からの取得目的情報へ移行する情報が含まれているhtml文書を受信し、そのhtml文書を解釈実行して、実施の形態1と同様に、サイト名選択部18によって受け付けられた名称の買い物サイトにおける、抽出部16によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得する。すなわちサイトアクセス部20は通常のhtmlブラウザとして動作する。これにより、サイトアクセス部20は、図6に示す「ラプラタ. co. jp」という名称の買い物サイトにおける「日本グルメの旅」というキーワードに関連するウェブページの情報を取得する。

[0104] 上述したように実施の形態2では、テレビ放送受信装置101ではなく取得目的情報生成装置201が、取得目的情報を生成する。実施の形態2においては、実施の形態1よりも更に自由度が高いアルゴリズムで取得目的情報を生成することができ、かつ、取得目的情報生成装置201の生成部83のみを変更することで生成のアルゴリズムを変更することが可能となる。また、ユーザに文字を入力させることなくユーザが視聴している番組に関連するキーワードに関連するウェブページの情報をユーザによって選択された買い物サイトから取得するための取得目的情報を生成させることができる。

[0105] なお、上述した実施の形態2においても、テレビ放送受信装置101及び取得目的情報生成装置201の各構成部の機能は、例えばコンピュータのCPU（プロセッサ）及びメモリ等のハードウェアと、その機能を実現するためのコンピュータプログラムとが協働することによって実現されてもよい。又は、上記各機能は、専用の回路により実現されてもよく、どのような形態により実現されてもよい。また、本実施の形態のテレビ放送受信装置101及び取得目的情報生成装置201の全部の構成部の1個又は複数個の機能を実現するためのコンピュータプログラムは、記録媒体に格納されてもよい。

[0106] また、取得目的情報を用いることによって取得される情報がユーザによっ

て選択された買い物サイトにおける、ユーザが視聴している番組に関連するキーワードに関連するウェブページの検索結果である場合、取得目的情報は、検索結果取得目的情報といえる。

[0107] (実施の形態3)

次に、実施の形態3のテレビ放送システムの構成を図14を用いて説明する。図14は、実施の形態3のテレビ放送システムの構成図である。

[0108] 図14に示すように、実施の形態3のテレビ放送システムの構成は、実施の形態1のテレビ放送システムの構成とほぼ同様である。しかしながら、以下の点において、実施の形態3のテレビ放送システムは、実施の形態1のテレビ放送システムと異なる。実施の形態3では、実施の形態1との相違点を主に説明する。

[0109] 図14に示すように、実施の形態3のテレビ放送システムは、テレビ放送受信装置102と、サイト情報提供装置200とを有する。実施の形態3のテレビ放送受信装置102は、実施の形態1のテレビ放送受信装置100が有している全ての構成部を有するとともに、テレビ放送受信装置102の個体識別情報としての固有のクエリ文字列を保持する識別情報保持部91をも有している。また、図14には、銀行サイト900が表示されている。

[0110] 実施の形態1では、生成部19は、取得目的情報を生成する際、サイト名選択部18によって選択し決定された一つの買い物サイトの名称と、抽出部16によって抽出されたキーワードとを用いて取得目的情報を生成する。それに対して実施の形態3では、生成部19は、識別情報保持部91によって保持されている固有のクエリ文字列をも用いて取得目的情報を生成する。そして、この生成した取得目的情報を用いて買い物サイトにアクセスする。なお、上記の「固有」とは、テレビ放送受信機一台一台毎に「固有」であっても良いし、機種毎に「固有」であっても良い。

[0111] 取得目的情報を生成するための情報が、図15に示すように、図5に相等するhtml文書である場合を想定する。図15は、図5に相等する取得目的情報を生成するための情報を含むhtml文書の一例を示す図である。図

15のhtml文書では、最初のmetaタグで定義されている「ラプラタ・c.o.j.p」という買い物サイトの名称の最後に「affiliate="&afid=abcd1234"」という文字列が追加されている。

[0112] 生成部19は、図15のhtml文書「affiliate=で始まる文字列」が存在する場合、実施の形態1を用いて説明した取得目的情報の後に「metaタグのaffiliate=の直後の文字列」を追加し、

「metaタグのstart=の後の文字列」+「選択した番組名（日本グルメの旅）」をencode=の後の文字列で指定される所定の文字コードに変換してからURLエンコードしたもの」+「metaタグのtail=の後の文字列」+「metaタグのaffiliate=の後の文字列」

を、新たな取得目的情報（URL）として生成する。

[0113] 図15のhtml文書では、「metaタグのaffiliate=の直後の文字列」は、「&afid=abcd1234」である。したがって、生成部19は、それを最後に追加して取得目的情報としてのURLを生成する。

[0114] 実施の形態3のテレビ放送受信装置102のサイトアクセス部20は、生成部19によって生成されたURLを用いて買い物サイト600にアクセスする。買い物サイト600はアクセスされたとき、クエリ文字列に「&afid=」という文字列が含まれている場合、そのアクセスは特定のテレビ放送受信装置102からのアクセスであることを認識し、「&afid=」の直後の「abcd1234」という文字列によりアクセス元を特定する。

[0115] 買い物サイト600は、その後にユーザがテレビ放送受信装置102のサイトアクセス部20を介して買い物サイト600において買い物を行うと、買い物に対応する対価を認識する。買い物サイト600は、各アクセス元に対応した銀行口座のテーブルを持っている。そこで、買い物サイト600は、買い物に対する対価の所定の割合の金額、例えば対価の3%の金額を、買い物サイト600が紹介されたことに対する対価として、銀行サイト900の「abcd1234」にリンクした銀行口座にインターネット500を介して送金する。すなわち、買い物サイト600は、買い物に対する対価の所定の割合

の金額を、銀行サイト 900 のテレビ放送受信装置 102 のユーザの銀行口座にインターネット 500 を介して送金する。

[0116] なお、実施の形態 3 では、サイトアクセス部 20 は、個体識別情報としてのクエリ文字列によりアクセス元を特定する情報を買物サイト 600 に送信するが、サイトアクセス部 20 は、アクセス元を特定する情報を、すなわちテレビ放送受信装置 102 の個体識別情報をクエリ文字列以外の手段、たとえば User Agent により買物サイト 600 に送信してもよい。

[0117] また、実施の形態 2 のシステムにおいても、テレビ放送受信装置 101 のサイトアクセス部 20 は、テレビ放送受信装置 101 の個体識別情報を、すなわちアクセス元を特定する情報を買物サイト 600 に送信してもよい。また、実施の形態 2 のシステムにおいても、買物サイト 600 は、買物に対する対価の所定の割合の金額を、銀行サイト 900 のテレビ放送受信装置 101 のユーザの銀行口座にインターネット 500 を介して送金してもよい。

[0118] また、アクセス元の情報として、上記の例ではクエリ文字列を URL に挿入した情報を用いる例を説明したが、これに限らず、URL と User Agent とを組み合わせた情報を用いても良いし、他の情報を用いても良い。

[0119] 更に、上記情報をアクセス先に送信する手段としては、イーサネット（登録商標）や携帯電話回線など他の通信手段を使用しても良い。

符号の説明

[0120] 100 テレビ放送受信装置、 200 サイト情報提供装置、 300 表示装置、 400 スピーカ、 500 インターネット、 600 買物サイト、 700 アンテナ、 100A 本体、 100B リモコン、 1 受信部、 2 デスクランブル部、 3 分離部、 4 放送データ保持部、 5 画像表示制御部、 6 音出力制御部、 7 番組表示制御部、 8 サイト名表示制御部、 9 ウェブページ情報表示制御部、 10 番組情報取得部、 11 番組情報保持部、 12 サイト情報取得部、 13 サイト情報保持部、 14 番組表表示指示受付部、 1

５ 番組選択部、１６ 抽出部、 １７ サイト名表示指示受付部、 １８
サイト名選択部、 １９ 生成部、２０ サイトアクセス部。

産業上の利用可能性

[0121] 本発明は、番組情報を元にインターネットを用いて検索を行う際、ユーザの利便性を従来より高めた技術を提供することができる。

請求の範囲

[請求項1]

テレビ放送信号を受信する受信部と、

前記受信部によって受信されたテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させる画像表示制御部と、

前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得する番組情報取得部と、

前記番組情報取得部によって取得された番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させる番組表表示制御部と、

前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を外部操作に基づいて選択する番組選択部と、

前記番組情報取得部によって取得された番組情報の中から前記番組選択部によって選択された番組に関連するキーワードを抽出する抽出部と、

一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報と、それら一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける前記抽出部によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則とを取得するサイト情報取得部と、

前記サイト情報取得部によって取得された一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させるサイト名表示制御部と、

前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を外部操作に基づいて選択するサイト名選択部と、

前記サイト情報取得部によって取得された取得目的情報生成規則にしたがって、前記サイト情報取得部によって取得された所在情報を利用して、前記サイト名選択部によって選択された名称のウェブサイトにおける、前記抽出部によって抽出されたキーワードに関連するウェブ

ブページの情報を取得するための取得目的情報を生成する生成部と
を備えるテレビ放送受信装置。

[請求項2]

テレビ放送信号を受信するステップと、

受信したテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させるステップと、

前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得するステップと、

取得した番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させるステップと、

前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を指示に基づいて選択するステップと、

取得した番組情報の中から選択した番組に関連するキーワードを抽出するステップと、

一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報と、それら一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける抽出したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則とを取得するステップと、

取得した一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させるステップと、

前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を指示に基づいて選択するステップと、

取得した取得目的情報生成規則にしたがって、取得した所在情報を利用して、選択した名称のウェブサイトにおける、抽出したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するステップと

を含む取得目的情報生成方法。

[請求項3]

テレビ放送信号を受信する機能と、

受信したテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させる機能と、

前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得する機能と、

取得した番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させる機能と、

前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を指示に基づいて選択する機能と、

取得した番組情報の中から選択した番組に関連するキーワードを抽出する機能と、

一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報と、それら一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける抽出したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則とを取得する機能と、

取得した一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させる機能と、

前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を指示に基づいて選択する機能と、

取得した取得目的情報生成規則にしたがって、取得した所在情報を利用して、選択した名称のウェブサイトにおける、抽出したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成する機能と

をコンピュータに実現させるためのプログラム。

[請求項4]

テレビ放送信号を受信する放送信号受信部と、

前記放送信号受信部によって受信されたテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させる画像表示制御部と、

前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得する番組情報取得部と、

前記番組情報取得部によって取得された番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させる番組表表示制御部と、

前記表示装置によって表示された番組表の中から一つの番組を外部操作に基づいて選択する番組選択部と、

前記番組情報取得部によって取得された番組情報の中から前記番組選択部によって選択された番組に関連するキーワードを抽出する抽出部と、

一つ又は複数のウェブサイトの名称を外部から取得するサイト情報取得部と、

前記サイト情報取得部によって取得された一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させるサイト名表示制御部と、

前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を外部操作に基づいて選択するサイト名選択部と、

前記サイト名選択部によって選択されたウェブサイトの名称と前記抽出部によって抽出されたキーワードとを外部に送信する送信部と、

外部から、前記サイト名選択部によって選択された名称のウェブサイトにおける、前記抽出部によって抽出されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を受信するアクセス情報受信部と

を備えるテレビ放送受信装置。

[請求項5]

更に、

本装置の固有識別情報を保持する識別情報保持部と、

前記サイト名選択部によって選択された名称のウェブサイトにアクセスするサイトアクセス部とを備え、

前記サイト名選択部によって選択された名称のウェブサイトは、買い物を実現するためのウェブサイトであって、

前記サイトアクセス部は、前記サイト名選択部によって選択された名称のウェブサイトにアクセスする場合、前記識別情報保持部によって保持されている固有識別情報を、前記買い物を実現するためのウェブサイトへ送信する

請求項 1 又は 4 に記載のテレビ放送受信装置。

[請求項6]

一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報と、それら一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける与えられたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則とを保持する保持部と、

前記保持部によって保持されている一つ又は複数のウェブサイトの名称をテレビ放送受信装置へ送信するサイト情報送信部と、

ウェブサイトの名称とキーワードとを前記テレビ放送受信装置から受信する受信部と、

前記保持部によって保持されている取得目的情報生成規則にしたがって、前記受信部によって受信された名称のウェブサイトにおける、前記受信部によって受信されたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成する生成部と、

前記生成部によって生成された取得目的情報を前記テレビ放送受信装置へ送信するアクセス情報送信部と

を備える取得目的情報生成装置。

[請求項7]

テレビ放送信号を受信し、受信したテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させるテレビ放送受信装置と、

一つ又は複数のウェブサイトの名称及び所在情報を保持する取得目的情報生成装置とを備え、

前記テレビ放送受信装置は、前記テレビ放送信号に含まれて放送さ

れる番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得して、その取得した番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させ、前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を外部操作に基づいて選択し、取得した番組情報の中から、外部操作に基づいて選択した番組に関連するキーワードを抽出し、一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記取得目的情報生成装置から取得し、取得した一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させ、前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を外部操作に基づいて選択し、この選択したウェブサイトの名称と抽出したキーワードとを前記取得目的情報生成装置に送信し、

前記取得目的情報生成装置は、前記一つ又は複数のウェブサイトのの中の一つにおける、与えられたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則をも保持しており、ウェブサイトの名称とキーワードとを前記テレビ放送受信装置から受信し、前記取得目的情報生成規則にしたがって、受信した名称のウェブサイトにおける、受信したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成し、生成した取得目的情報を前記テレビ放送受信装置に送信し、

前記テレビ放送受信装置は、前記取得目的情報生成装置から、生成された取得目的情報を受信する

テレビ放送システム。

[請求項8]

更に、前記テレビ放送受信装置が受け付けた名称のウェブサイトとして買い物を実現するためのウェブサイトを備え、

前記テレビ放送受信装置は、更に、前記テレビ放送受信装置の固有識別情報を保持する識別情報保持部と、受け付けられた名称のウェブサイトである前記買い物を実現するためのウェブサイトにアクセスする機能とを有し、前記買い物を実現するためのウェブサイトにアクセ

スする場合、前記識別情報保持部によって保持されている固有識別情報を、前記買い物を実現するためのウェブサイトへ送信し、

前記実現するためのウェブサイトは、前記テレビ放送受信装置のユーザによって買い物が実行されたことを固有識別情報によって検出した場合、買い物の対価の一部を、銀行機能を有するウェブサイトの前記テレビ放送受信装置のユーザに対応する口座へ送金する

請求項 7 に記載のテレビ放送システム。

[請求項 9]

テレビ放送受信装置が、テレビ放送信号を受信し、受信したテレビ放送信号に含まれる番組の画像データを復号して表示装置に画像を表示させ、前記テレビ放送信号に含まれて放送される番組の放送開始時刻と番組名とを少なくとも含む番組情報を取得して、その取得した番組情報に基づいて番組表を生成し、この生成した番組表を前記表示装置に表示させ、前記表示装置によって表示された番組表の中の一つの番組を外部操作に基づいて選択し、取得した番組情報の中から、外部操作に基づいて選択した番組に関連するキーワードを抽出し、一つ又は複数のウェブサイトの名称を取得目的情報生成装置から取得し、取得した一つ又は複数のウェブサイトの名称を前記表示装置に表示させ、前記表示装置によって表示された一つ又は複数のウェブサイトの名称の中の一つのウェブサイトの名称を外部操作に基づいて選択し、この選択したウェブサイトの名称と抽出したキーワードとを前記取得目的情報生成装置へ送信し、

前記取得目的情報生成装置が、ウェブサイトの名称とキーワードとを前記テレビ放送受信装置から受信し、前記一つ又は複数のウェブサイトの中の一つにおける与えられたキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成するための取得目的情報生成規則にしたがって、受信した名称のウェブサイトにおける、受信したキーワードに関連するウェブページの情報を取得するための取得目的情報を生成し、生成した取得目的情報を前記テレビ放送受信装

置に送信し、

前記テレビ放送受信装置が、前記取得目的情報生成装置から、生成された取得目的情報を受信する

取得目的情報生成方法。

Figure 1 is a schematic diagram of a television screen 300A. The screen displays a program table 301. The table has columns for channels (MHKテレビ, 関東テレビ, 横浜放送) and rows for time slots (7, 8, 9). The selected program is '00 MHKニュース 天気' at 00:00 on MHKテレビ. The date and time are 2010年3月5日(金)19:10.

	MHKテレビ	関東テレビ	横浜放送
7	00 MHKニュース 天気 30 首都圏ニュース	00 クイズペンタゴン	00 かわいいペット
8	00 日本グルメの旅	00 ミュージックビデオ	00 100人の偉人
9	00 9時のニュース	00 金曜サスペンス	00 金曜映画劇場

[図3]

Figure 3 shows a program schedule table (301) for the date 2010年3月5日(金)19:10 (302). The table is organized by time slots (303) and TV stations (305). The stations listed are MHKテレビ, 関東テレビ, and 横浜放送. The programs are as follows:

Time Slot	MHKテレビ	関東テレビ	横浜放送
7	00 MHKニュース 天気 30 首都圏ニュース	00 クイズペンタゴン	00 かわいいペット
8	00 日本グルメの旅	00 ミュージックビデオ	00 100人の偉人
9	00 9時のニュース	00 金曜サスペンス	00 金曜映画劇場

The table is labeled with 304 at the bottom left and 305 on the right side.

[図4]

Figure 4 shows a program schedule table (301) for the date 2010年3月5日(金)19:10 (302). The table is organized by time slots (303) and TV stations (305). The stations listed are MHKテレビ, 関東テレビ, and 横浜放送. The programs are as follows:

Time Slot	MHKテレビ	関東テレビ	横浜放送	Website
7	00 MHKニュース 天気 30 首都圏ニュース	00 クイズペンタゴン	00 かわいいペット	
8	00 日本グルメの旅	00 ミュージックビデオ	00 100人の偉人	ラプラタ.co.jp mahoo shopping 値段.com bitter
9	00 9時のニュース		00 金曜映画劇場	

The table is labeled with 304 at the bottom left and 305 on the right side. The website column is labeled with 308 at the bottom.

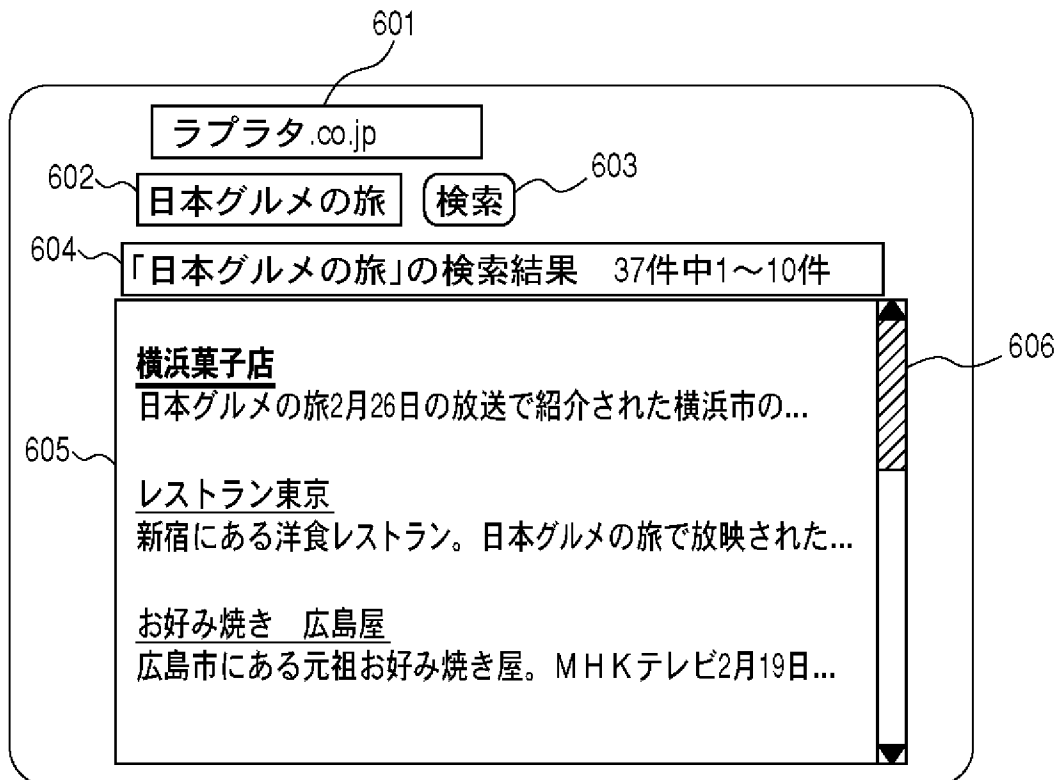
[図5]

```

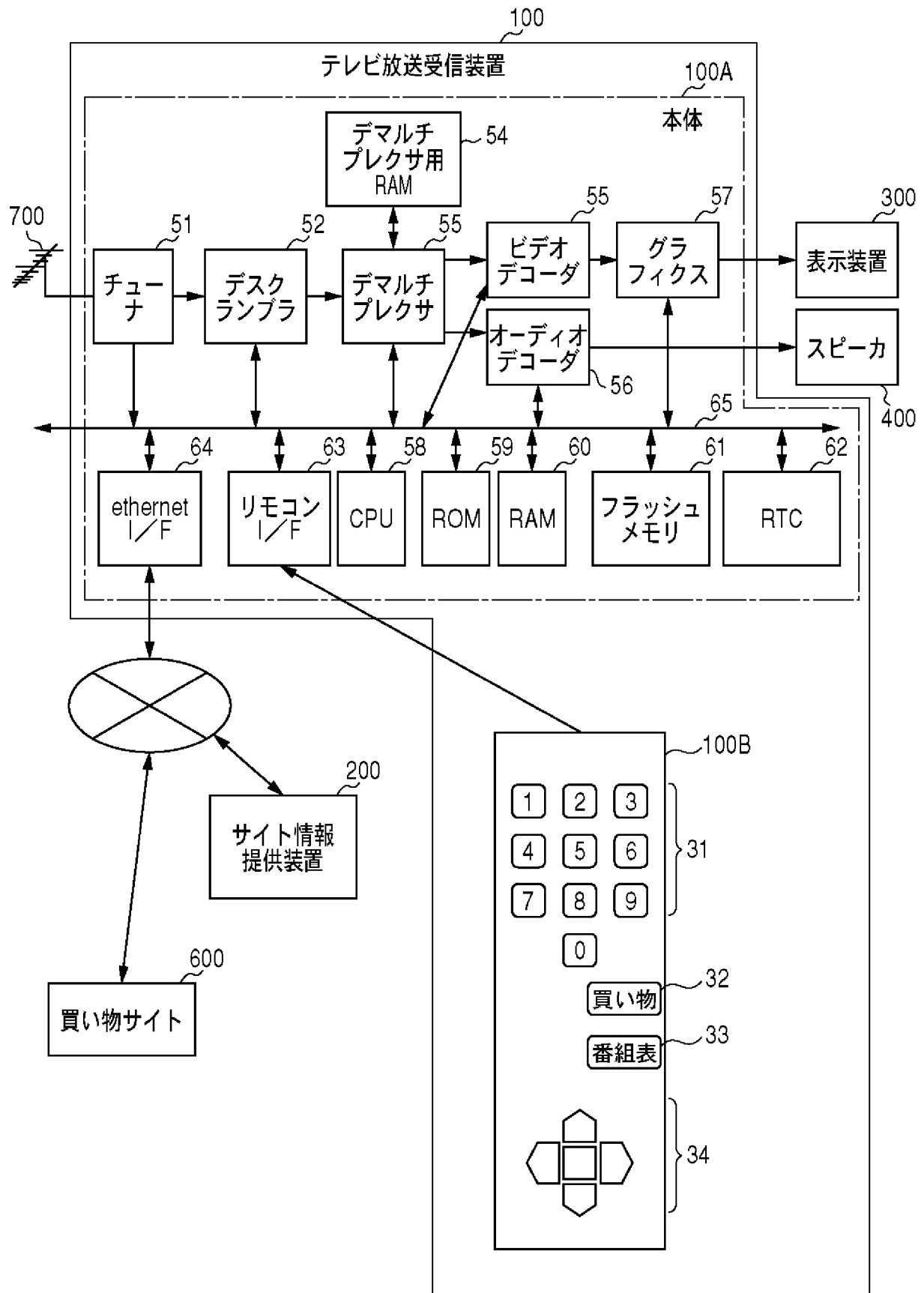
<html>
<head>
<meta encode="SJIS" shopping-site1="ラプラタ.co.jp" start="http://www.laplata.co.jp/s/
keywords=" tail="" />
<meta shopping-site1="mahoo shopping" start="http://shopping.mahoo.co.jp/search?p="
tail="" encode="EUC" />
<meta encode="SJIS" shopping-site1="値段.com"
start="http://nedan.com/tv/search/kw=" tail="" />
<meta shopping-site1="bitter" start="http://www.bitter.co.jp/dap/sv/list1?keyword="
" tail="" />
</head>
<body> 以下略

```

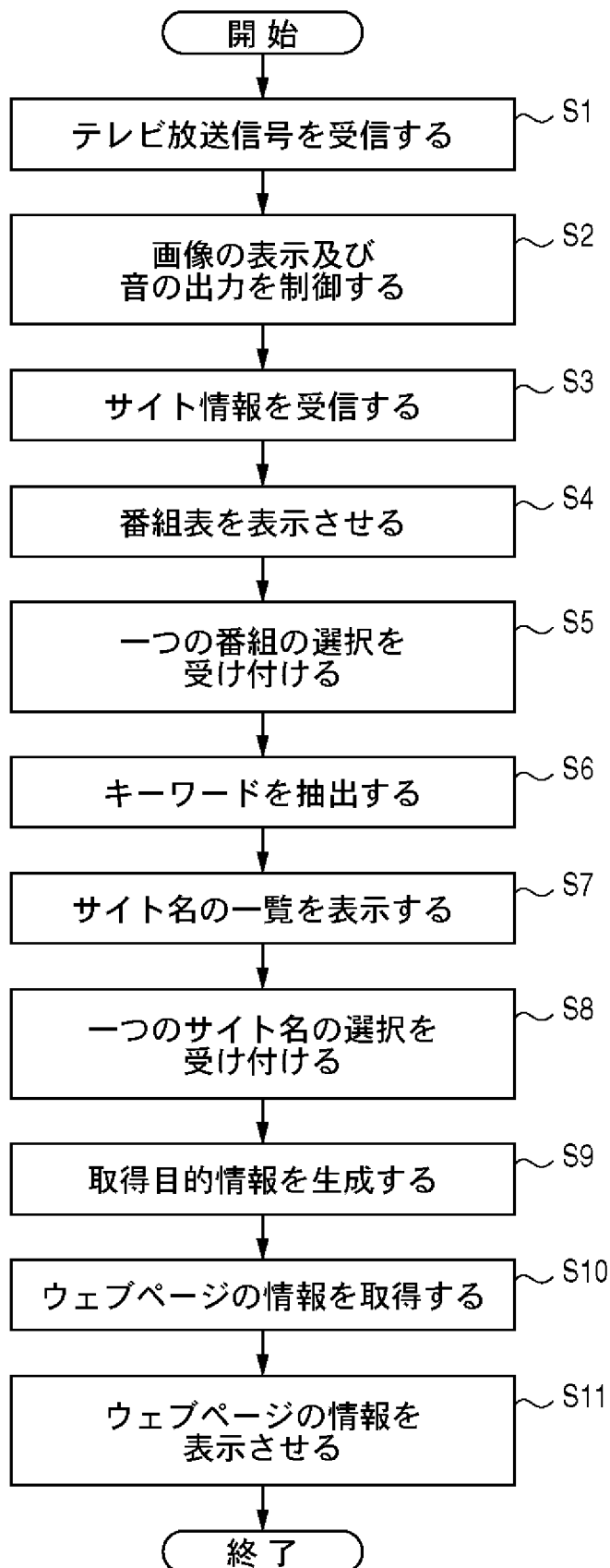
[図6]



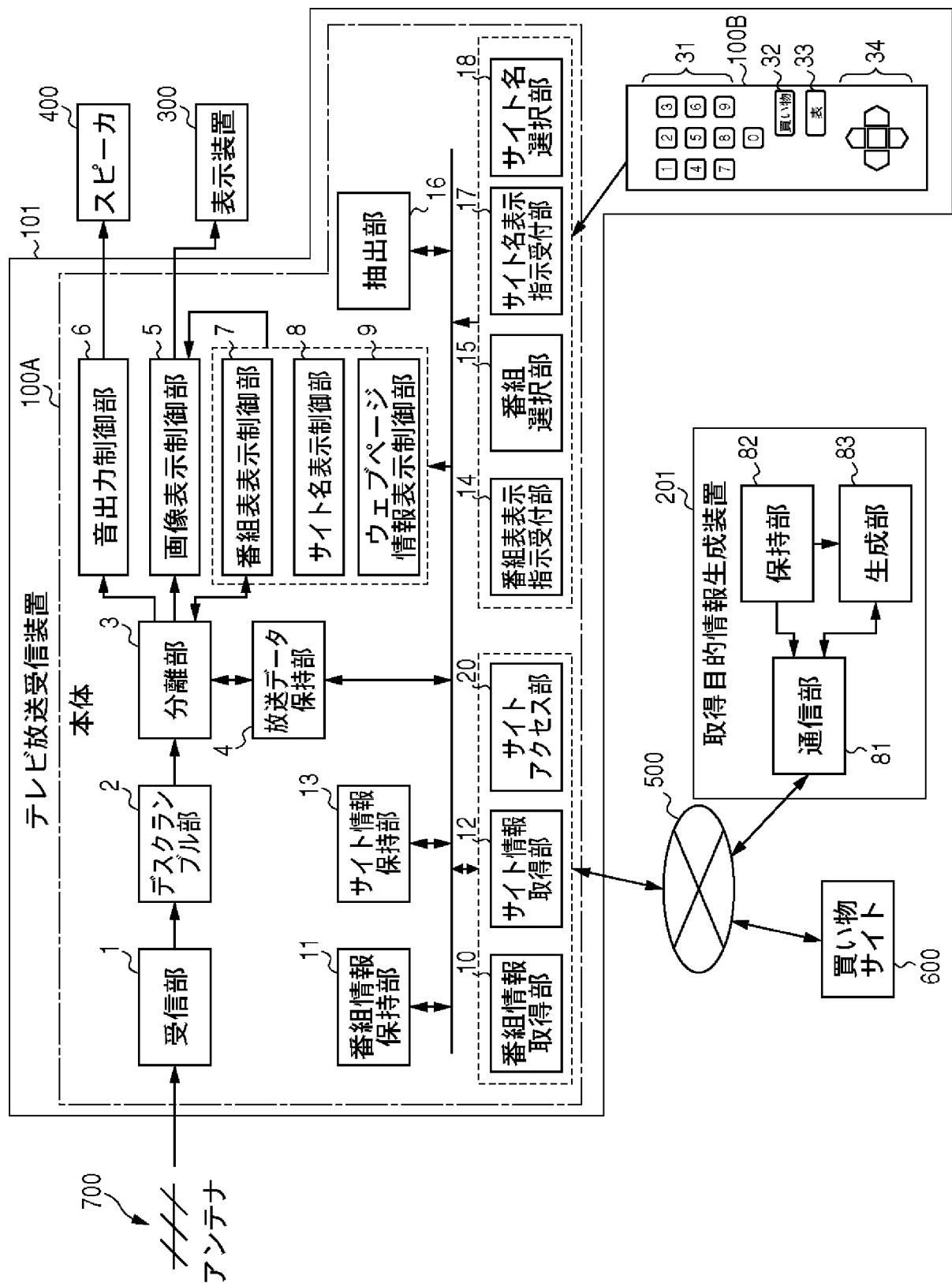
[図7]



[図8]



[図9]



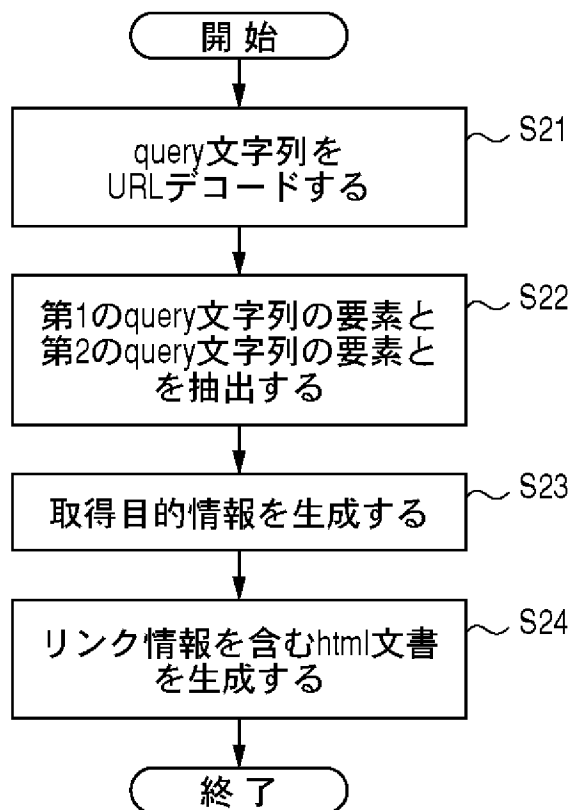
[図10]

/ shopping site.html
 URLtransfer.html

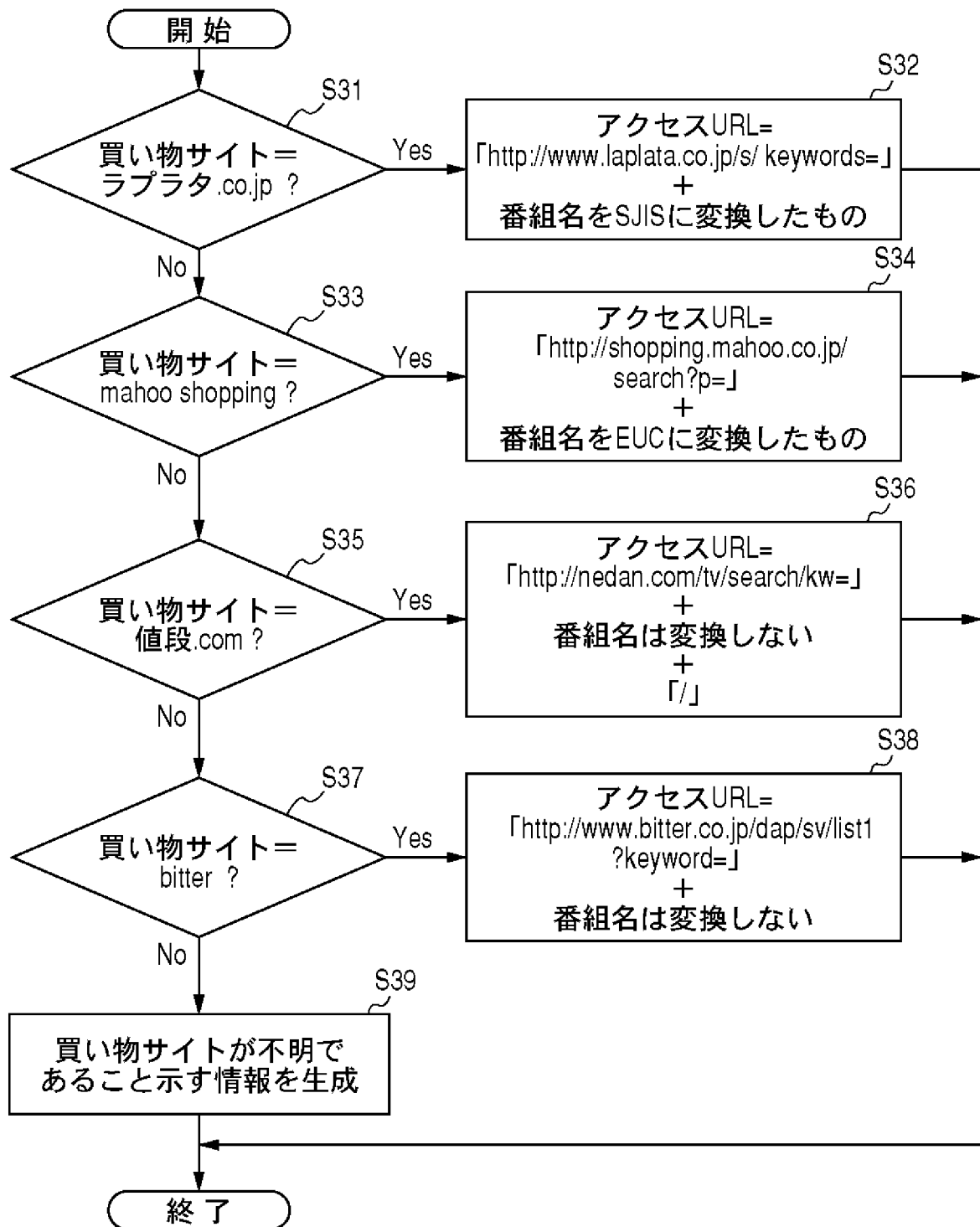
[図11]

```
<html>  
<head>  
<meta shopping-site1="ラプラタ.co.jp" />  
<meta shopping-site1="mahoo shopping" />  
<meta shopping-site1="値段.com" />  
<meta shopping-site1="bitter" />  
</head>  
<body> 以下略
```

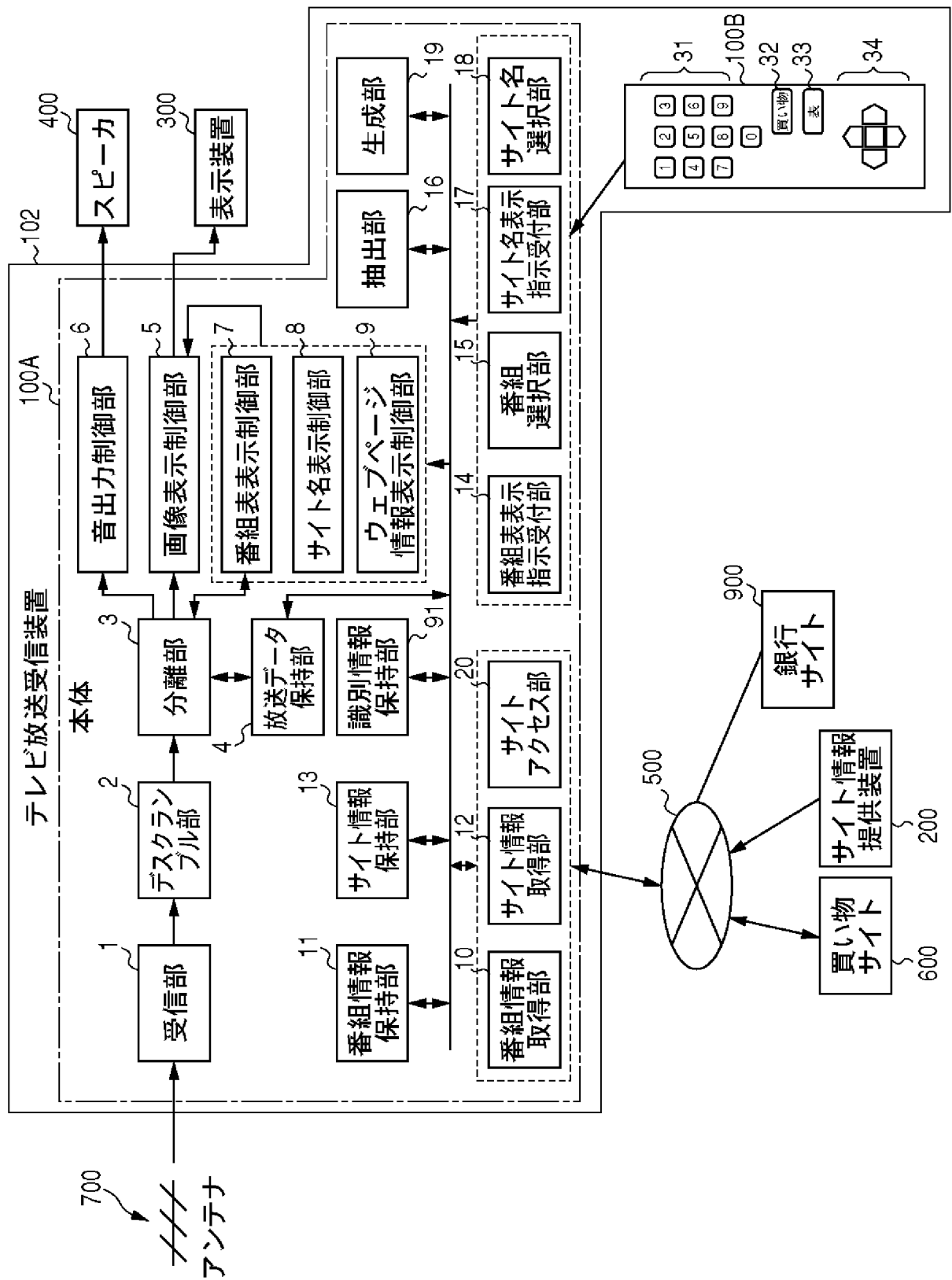
[図12]



[図13]



[図14]



[図15]

```
<html>
<head>
<meta encode="SJIS" shopping-site1="ラプラタ.co.jp" start="http://www.laplata.co.jp/s/
keywords=" tail="" affiliate="&afid=abcd1234"/>
<meta shopping-site1="mahoo shopping" start="http://shopping.mahoo.co.jp/search?p="
tail="" encode="EUC" />
<meta encode="SJIS" shopping-site1="値段.com"
start="http://nedan.com/tv/search/kw=" tail="/" />
<meta shopping-site1="bitter" start="http://www.bitter.co.jp/dap/sv/list1?keyword=
" tail="" />
</head>
<body> 以下略
```

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/000664

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

H04N7/173(2011.01)i, H04H20/93(2008.01)i, H04H60/72(2008.01)i, H04H60/82(2008.01)i, H04N5/445(2011.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

H04N7/173, H04H20/93, H04H60/72, H04H60/82, H04N5/445

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2011
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2011	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2011

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	JP 2010-62963 A (Hitachi, Ltd.), 18 March 2010 (18.03.2010), paragraphs [0023] to [0032]; fig. 1 to 4	1-7, 9 8
Y A	JP 10-155119 A (Sanyo Electric Co., Ltd.), 09 June 1998 (09.06.1998), paragraphs [0010] to [0014]; fig. 1 to 3	1-7, 9 8
Y A	JP 2002-515207 A (Gemstar Development Corp.), 21 May 2002 (21.05.2002), column 13, line 7 to column 14, line 25; fig. 3	1-7, 9 8
Y	JP 2003-223586 A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 08 August 2003 (08.08.2003), paragraphs [0038] to [0043]; fig. 5, 6	4-7, 9



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
25 February, 2011 (25.02.11)

Date of mailing of the international search report
08 March, 2011 (08.03.11)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2011/000664

JP 2010-62963 A	2010.03.18	(Family: none)
JP 10-155119 A	1998.06.09	(Family: none)
JP 2002-515207 A	2002.05.21	JP 2007-300668 A JP 2007-312412 A JP 2010-88126 A US 2004/0103439 A1 US 2007/0067805 A1 US 2010/0118187 A EP 932979 A EP 1850594 A2 WO 1998/017064 A1 DE 69738374 D DE 69738374 T AU 4823197 A BR 9712352 A AU 726960 B CA 226789
JP 2003-223586 A	2003.08.08	US 2003/0143979 A1

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. H04N7/173 (2011.01) i, H04H20/93 (2008.01) i, H04H60/72 (2008.01) i, H04H60/82 (2008.01) i, H04N5/445 (2011.01) i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. H04N7/173, H04H20/93, H04H60/72, H04H60/82, H04N5/445

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 1 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 1 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 1 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	JP 2010-62963 A (株式会社日立製作所) 2010.03.18, 段落【0023】 - 【0032】, 第 1-4 図	1-7, 9 8
Y A	JP 10-155119 A (三洋電機株式会社) 1998.06.09, 段落【0010】 - 【0014】, 第 1-3 図	1-7, 9 8
Y A	JP 2002-515207 A (ジェムスター ディベロプメント コーポレ イション) 2002.05.21, 第 13 欄第 7 行-第 14 欄第 25 行, 第 3 図	1-7, 9 8

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。

☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 5 . 0 2 . 2 0 1 1

国際調査報告の発送日

0 8 . 0 3 . 2 0 1 1

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官 (権限のある職員)

日下 善之

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 4 1

5 C

4 0 6 1

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2003-223586 A (松下電器産業株式会社) 2003. 08. 08, 段落【0038】 - 【0043】 , 第 5, 6 図	4-7, 9

JP 2010-62963 A	2010. 03. 18	ファミリーなし
JP 10-155119 A	1998. 06. 09	ファミリーなし
JP 2002-515207 A	2002. 05. 21	JP 2007-300668 A JP 2007-312412 A JP 2010-88126 A US 2004/0103439 A1 US 2007/0067805 A1 US 2010/0118187 A EP 932979 A EP 1850594 A2 WO 1998/017064 A1 DE 69738374 D DE 69738374 T AU 4823197 A BR 9712352 A AU 726960 B CA 226789
JP 2003-223586 A	2003. 08. 08	US 2003/0143979 A1